

V 自由意見

問 18 「地区まちづくり活動」について、あなたが日ごろ感じていることやアイデアなどを自由に記入してください。

地区まちづくり活動への参画について(45 件)

- 役員に対する負担が大きい。やり手がおらず高齢化している。時代的に金銭的な報酬も考えるべきではないか。 (男性 30代)
- 行政や地区住民が立案すると、どうしても形式的になる傾向があるため、学生がイベントを企画・立案し、それに地区住民が意見を言わず全力でサポートしてみる。 (男性 30代)
- 町内に高齢者しかいないため、町内活動が負担になっている。現役世帯にはつらい。町内活動を見直してほしい。また、婦人会があるが今の世の中女性差別ではないだろうか？ (青葉台) (男性 30代)
- 日ごろの仕事にプラスアルファで活動時間を要するので、負担感の大きい人が比較的多いように感じる。官民共同で評価する仕組みづくりが必要ではないか。 (男性 40代)
- 子育て世代、現役世代の参加や活動が限られてしまっている。地区で活躍している人が、地区の役を複数兼務したり、長年リーダーをやっていて次世代の地区のリーダーが育ちにくい、または担い手がない。 (男性 40代)
- 無理に地域とかかわり過ぎないほうがよいと思う。 (男性 40代)
- 今は仕事が忙しく、まちづくり活動にかかわれていない。 (男性 40代)
- シルバー人材の活用。 (男性 50代)
- まず家族が1番。月曜日～土曜日は仕事。まちづくり活動に参加する余裕がない。ストレスを感じる。 (男性 50代)
- 個人への負担感が強く、日々の仕事との両立には無理がある。 (男性 60代)
- 地区まちづくりセンター建設に携わったので、今年から地区まちづくり活動への参加をしてみた。 (男性 60代)
- 私のような県でまちづくり活動をした人を生かす。在宅介護などの地区での教育。 (男性 60代)
- 住民が気軽に参加できるような雰囲気づくりをしてもらいたい。 (男性 70代以上)
- まちづくり活動への参加者の減少。世代間のギャップ。イベント中心。 (男性 70代以上)
- 町内会長の世代交代 (町内会長、連合会役員が高齢過ぎるため)。 (男性 70代以上)
- 地区に対して、何か取り組む姿勢がなかなかとりにくい。余りまちづくりに対し関心が持てない人が多いと感じる。 (男性 70代以上)
- 住民の意識が低い。人任せ。 (男性 70代以上)
- 住民の高齢化に伴い、まちづくり活動への参加が難しくなっている。高齢者はどのようにかかわっていけばよいのかよくわからない。 (男性 70代以上)
- 気軽に参加することのできる活動がふえるとよいと思う。 (女性 20代)

問 18 (つづき)

- ベビーカーで歩きづらい。子連れで歩きづらいので川にふたをしてほしい。当たり前にある春堀の見直し、ごみ当番（朝はいらないはず）、地区の運動会、子ども会は必要なのか。子どもや若い子持ち世代にとって暮らしにくいことが多い。(女性 30代)
- この田子浦地区は昔からの役員のおじさんたちが残り、団結力はあるが、内容も古い！！だから外から来た若い家族は地区活動に協力しない。清掃活動も多過ぎる。今の時代、土日も子どもの習いごとがある。もっと分担して考えてやってほしい！！(女性 30代)
- 役員のなり手がいない。ほとんどの人が仕事、子育てに追われているので、余暇を使ってまで活動しようとは思えない、という人がほとんどだと思う。(女性 30代)
- 地区に高齢者が多く、また若い世代は子育てや仕事があるため役員の仕事や会合への参加は負担が大きい。(女性 30代)
- 高齢者を家庭で介護しているため地域のルールとしての当番などに参加するのが精一杯。(女性 40代)
- 地区住民が高齢化しており、地区の活動において今後も協力していかなければならないとは思っているが、子育て世代の30代～50代（特に40代）に負担が多くかかり過ぎている。もっと軽減できないものか。(女性 40代)
- 小学校までは参加しやすいが、それ以降は参加しにくい活動しかない。中・高・大学生まで参加しやすい活動にしてほしい。(女性 40代)
- 若い世代は、自分たちの生活に手いっぱい、地域活動を行う余裕がある人は少ない。いつまでもボランティアに頼るのではなく、機能や活動内容を本当に意味のあるものだけに絞り、『仕事』にするべきだと思う。集まるための会議など、無駄が多いので、仕事にしてプロにバリバリ仕切ってもらった方がよい。多数の素人では、できることが限られる。(女性 40代)
- 世帯の少ない地区、多い地区がある。多い方から少ない方へ引っ越して思ったが、少ない世帯の地区の負担が大き過ぎる。毎年何かをやらなければならない。30代40代は暇じゃない。(女性 40代)
- 各自が自主的に地区まちづくり活動に参加するようになれば理想だ。(女性 50代)
- あまり魅力的な活動がないと思う。役員になったときだけ参加する。毎年同じ行事を繰り返しているような気がする。(女性 50代)
- 子育て世代は生活が忙しいので、子育てが終わった高齢の方々にもっと積極的に地区の役員をやってほしい。(女性 50代)
- 「地区まちづくり活動」は、よいことなのかもしれないが、役員が強制的に回ってくるのが困る。引っ越しした先で周りもあまり知らないのに順番だからといきなり役員を押しつけられたり地区に人が少ないと、役員が何回も回ってくる。地区に若い人がいないと高齢者にも役員が回ってくる。この役員をなんとかしてもらいたい。会合の数が多かったり、もっと負担を軽くしてほしい。(女性 50代)
- 昔と違い、現在は女性も仕事をしているので、活動したくても時間がないのが現状。(女性 50代)
- 高齢になったので、活動には参加していない。できる時代には精いっぱい頑張った。自信がなくても経験することで、楽しく、前向きになれると思う。心がけ合いながら、参加してくれる方が広がっていけばよいと思う。(女性 50代)

問 18 (つづき)

- 一人一人が担い手になって活動する。 (女性 60代)
- 役員になった場合の、時間的、身体的負担が大きい。順番やくじ引きで当たったので、仕方なくやっている人が大半であると思う。もっとシンプルにしてほしい。 (女性 60代)
- 高齢の方たちが率先して活動してくれることはよいことだが若者が積極的に参加してくれることでさらなる活性化につながるのではないか。 (女性 60代)
- まちづくりの行事が多過ぎて大変。特に若い人より 60 歳以上の人の負担が多い。 (女性 60代)
- 住人の高齢化や若者との同居が少ないため地域活動が大変だ。 (女性 70代以上)
- 子ども会、PTA活動については、特定な人にばかり負担がかかり、時間的にも大変な活動している様子。もう少し平等な役割で活動できるよう工夫してほしい。 (女性 70代以上)
- 仕事をしている人が多いので休みの日や夜間などの参加も難しいのでは。 (女性 70代以上)
- さわやかサロン四十九に初回から参加して 3 年目になる。私は 78 歳中で一番の若者だ。今年は会計を受けたが、会長さんとともに会の運営、企画、茶薫の準備、特に昼食の用意（お弁当は車に乗れる会長さんの仕事）金銭の出入りは JA まで徒歩で用足ししているが、年齢的にだんだん負担を感じている。車の運転ができる 60 歳代くらいの方がボランティア的に動いてもらえると実に助かる。今年は頑張る。 (女性 70代以上)
- 高齢のため、参加したくても参加できない。 (女性 70代以上)
- 嫌われている人（まちづくりにとってマイナスの人）が、いつまでも居座っていると、まちづくりにとって大切な人が離れていってしまう。住民に拒否感を持たせる。 (女性 年代不明)
- 経済的、時間的に余裕のある方で、健康な方が負担少なく、多くの方が活動参加できる環境、掘り起こしが必要であると思う。子育て中で仕事を持っている方や、介護に当たっている方などは、気持ちがあっても現実的には関与できない。 (性別不明 年代不明)

地区まちづくり活動の内容・役割・運営について(39 件)

-
-
- 参加できない人や参加したくない人もいるので、その分会費を納めるなど行動しなくても活動に参加できるような取り組み。 (男性 20代)
 - 学生をサポートしてくれる交通指導員がいてよいと感じている。 (男性 20代)
 - 活動が全体的に地味で若い人が参加するとは思えない。 (男性 30代)
 - 町内会の意見がばらばらでまとまりがなく、子どもが大きくなるにつれて、情報も少なくなっている。イベントなど市の活動も大切かもしれないが、町内をまとめる市の職員の活動を期待したい。 (男性 40代)
 - できるだけ子ども主体（小・中学生）のまちづくり活動をふやしてほしい。年配の方はサポートにまわって助けてほしい。 (男性 40代)
 - 小学生の子どもを通した活動に参加することが多いため、子ども参加の行事が魅力あるものになるとよい。 (男性 40代)
 - 固定しない組織、その都度募集など組織のありようを見直す。 (男性 50代)

問 18 (つづき)

- 富士市のまちづくり活動は、他の自治体よりも充実していると思う。 (男性 50代)
- 子どもたちを巻き込んで、子どもたちを中心に、子どもたちのために活動を考える。 (男性 50代)
- 当地域に愛着が湧くような文化を掘り起こす活動と、それらのメディアへの訴え。 (男性 50代)
- 特定の人だけに負担がかからない範囲で行うべきだと思う。 (男性 50代)
- 文化を残したいのは理解できるが、参加が少なくなっている行事は取りやめて新しい参加しやすい行事に変えるべき。 (男性 50代)
- 小さな不平、不満を聞いて、直せることは直す。 (男性 60代)
- 地域防災訓練時の旗の見直し(各班長が班員を誘導する時の旗)張りがなく見えないので、実際にはあまり役に立っていない。区員、班員が確認しやすいように工夫を。白布に手書きで確認しにくい。 (男性 60代)
- 高齢化のため、運営が年々難しくなっている。 (男性 60代)
- 地域格差が大きい。 (男性 60代)
- 観光資源を発掘しPR。 (男性 60代)
- 地区まちづくり活動は減らしてほしい。地区で順番なので役員をやるが、80歳を過ぎても出ないといけないので負担だ。子どもはいるが、遠くにいて帰ってこない。婦人会も同様だ。敬老会があるため婦人会をやっているようなもので、大変負担が大きく、何歳まで役員をやらされるのか…気が重い。 (男性 60代)
- 住民ニーズとのアンマッチ!求められているニーズと少しずれているように思う。 (男性 60代)
- 同じ人が5年10年と続けている。役員の固定化。 (男性 70代以上)
- 高架下の清掃を有志の方がやってくれていることがありがたい。 (女性 20代)
- 町内会について、訃報の連絡が電話による連絡網で回ってきたり、同じ組の方が亡くなった場合、葬儀のお手伝いをしなければならないのは、時代にそぐわず、子育て世代にとっては負担が大き過ぎる。また、町内会の入会金がものすごく高額で(確か5~10万円)、ほぼ強制的に入会したが、会費も6,000円と高額過ぎる。以前住んでいた県外では月200円だったため、驚いたと同時に、負担が大きく家計を圧迫している。 (女性 20代)
- 私の住んでいる地域は高齢者が多く、地区のまちづくり活動も今後難しくなっていくと思う。30代~50代の世帯が少なく、ほとんどが共働きで、一人にかかる負担は多くなる。行政や民間企業の力を借りて運営し、同時に活動の見直しをしていくことが必要だと感じる。また、これからの高齢化社会に向けて、車なしで生活できるような仕組みをつくってほしい。たとえば、富士駅前に大型商業施設(ショッピングセンター)を誘致、子どもから高齢者まで皆が集まる場所をつくり、バスでのアクセスをもっと便利に。人の流れができればバスの利用もふえ、商店街も活性化すると思う。新富士駅-富士駅-青葉通り-富士市役所を結ぶ路面電車(長崎や広島のような)ができたらいいなと思う。観光客もふえ、市民の利便性も上がる。富士山という日本一の観光資源があるまち、富士市をもっと住みやすく、もっと人々が集まるまちにしてほしい。 (女性 30代)
- 南海トラフ地震に向けての防災活動。 (女性 30代)
- 日常生活における問題点などを積極的に話し合える場をこれからもつくってほしい。 (女性 30代)

問 18 (つづき)

- 未就学児に対してのサービス (バランスのよい給食の提供、親子活動の場の提供など) (女性 30代)
- 地域の歴史などを生かした活動。 (女性 40代)
- ごみ集積所がとてもきれいに管理されている場所は、防犯意識も高く地域の住民の連携もうまくいっているのではないかと思った。そして何よりも、ごみ集積所がきれいに保たれている場所は安心できる。 (女性 40代)
- 小学生が通える日程の英会話教室などがあつたらよいと思う。 (女性 40代)
- 各町内が、高齢化に伴い役員を出すことが難しくなっている。働いている人でも、やっていけるような役割にしていけないか。 (女性 40代)
- 交通安全のために、交差点に立っている方、もっと考えて立ってほしい。左折時、迷惑なことが多い。 (女性 50代)
- 自治会の役員の方々には感謝している。 (女性 50代)
- 近所に一人暮らしの高齢者が多い。ゴミ出しなど一人でできないため支援が必要ではないか。 (女性 50代)
- 年齢に関係なく、全ての人に (弱者にも) やさしい活動を。 (女性 60代)
- 高齢者多数のため、活動そのものが難しい。 (女性 60代)
- 一度役員になると長い (4年とかもつと)。会合が多い。 (女性 60代)
- 町内会費が約1万円。ほとんどお祭りに消えているようである。脱退して、班の世帯が26から22世帯に減った。町内活動がおもしろくないからだと思う。50代から70代の世帯がほとんど。子世代と同居をしていない。 (女性 60代)
- 美化活動。 (女性 70代以上)
- 交通安全の日、1つの交差点にたくさんの人が偏っていて、車に乗っている人も目視しづらい。自転車、歩行者の人の邪魔をしてその人が道路に出てきて事故に遭いそうになった。それも気づかないくらい立ち話しているのでは意味がない。もっといろんな交差点に人を振り分ければいい。親が会合のときに話しても古い人が考えを変えないから変わらない。何年も。 (女性 70代以上)

地区まちづくり活動の周知について(17件)

-
-
- PRをもっとしてほしい。知る機会がない気がする。 (男性 40代)
 - どんな活動をしているのかよくわからない。昔と違って近所の人にもわからない時代。もう少しふれ合いがあればよいのでは? (男性 50代)
 - 特定の人に偏りがちな地域の活動に多くの人に参加できるような雰囲気づくりも必要だと思う。 (男性 50代)
 - 各地区同じだと思うが、マンション、アパートなど、入居者の活動が不十分だと思うので参加しやすい活動やPR活動を十分行う。 (男性 60代)
 - 何をやっているのか知らない。 (男性 60代)

問 18 (つづき)

- 地区の名産、誇れるもののPR活動。 (男性 70代以上)
- 地区まちづくり活動として何をしているかよく知らない。 (女性 10代)
- 地域ごとの新聞を広報ふじにのせる。 (女性 20代)
- 地区で行われている活動をもっと知りたい。 (女性 20代)
- 活動内容がよくわからない。 (女性 40代)
- 富士市以外の都市の活動を知らないで、できれば県外はどのようなまちづくり活動があるのか知りたい。 (女性 50代)
- 情報が欲しい。パソコン、スマホなど使用していないのでわからない。 (女性 60代)
- 活動内容のPR。 (女性 60代)
- 活動に参加したくても手段がわからないので紙面だけでなく声かけの運動もしてほしい。 (女性 70代以上)
- 一部の意識の高い方たちが一生懸命活動している感がある。関心のない人に伝えるのは難しいことだが、やはりPR不足なのかなと思う。 (女性 70代以上)
- まだまだ我関せずのところがあるので、もう少しPRが必要と思う。 (女性 70代以上)
- 地区住民に行きわたるPRは大事かなと思う。 (女性 70代以上)

行事・イベントの企画について(10件)

- 区民体育祭の必要性は感じない。その他、若者向けの活動(資金)に振り分けた方がよい。少子化のため、学校の運動会になっている。無記名のアンケートを取るとわかるはず。 (男性 50代)
- バスツアー実施。 (男性 50代)
- 合併の弊害か、行事などにまとまりがない。 (男性 60代)
- 高齢化に伴い、家の中で過ごす時間がふえてきている。そこで、まちづくりセンターを使って「談笑会」「昔を懐かしむ会」などを工夫する。 (男性 70代以上)
- 余っている畑での農業体験。 (女性 40代)
- 凧あげ大会は、昔からの伝統行事になっている。 (女性 40代)
- 町内会の運動会がなくなってほしい。 (女性 50代)
- 各種イベントに参加したくても、遠い、駐車場がないなど、高齢者には条件が整わず、ついつい断念してしまうことが多い。学校と協力して、広い運動場を使用できるようにはならないだろうか。人生100年時代、高齢者はますますふえていく。 (女性 70代以上)
- 現代に合ったイベント、目新しいものが欲しい。市全体に活気がない。 (女性 70代以上)
- 夏休み冬休み、子どもを集めてゲームなど、子どもに関心をもってもらおうよう企画して多くの体験、多くの人とのかかわりを計画する。 (女性 70代以上)

問 18 (つづき)

地域内での交流について(10 件)

- 地区住民同士の絆が希薄であり、岩松北まちづくりセンターの駐車場を活用して「岩松北地区の夏祭り（仮称）」を開催してきずなを深める。冬の梅まつりと秋祭りを身近な地域で開催する。
(男性 70 代以上)
- 地区住民相互の親睦、助け合い。
(男性 70 代以上)
- 面識のない人と話すことができ、友好関係を築くのによい機会になっていると思う。
(女性 10 代)
- 祭りは子ども、大人を問わず、誰でも参加できるイベントなので、地区全体で盛り上げていけるとよいと思う。地域活性化につながるのでは？
(女性 20 代)
- 「地区まちづくり活動」イコール「ご近所づきあいのこと」だと思うが、私はそれほど積極的にこのような活動にかかわったことがなく、「順番が来たからやる」という程度である。ただ、一度引き受けたことは最後まで全うしたという自負はある。私がこのような活動で感じたことは、「女性同士の結束力がなんとなく弱い」ということである。皆さんお忙しいと思うので仕方がないかもしれない。今のままでは、「まちづくり活動」なんていつまで続けられるのだろうと思った。今どき古くさい考えだと笑われるかもしれないが、ご近所づきあいのことでは、やはり女性が結束力を強め、存在感を示して取り組まなければ、まちは元気になるどころか、潰れてしまうのではと思った。
(女性 40 代)
- 一人暮らしの人でも、家に閉じこもらないように、誘い合う、呼びかけをする。
(女性 60 代)
- 相手への思いやりがもっとももっとふえるようにと思う。
(女性 60 代)
- 人を見たら挨拶をする。そんなまちにしてほしい。第一、市役所に行っても挨拶のできる人間が誰もいないし、皆知らん顔だ。
(女性 70 代以上)
- 今は地域の中で高齢者が外で2～3人くらいで話をしている姿が見えず1人、家で留守番をしている寂しい姿を見かける。話を聞くとデイサービスに行っている人が多く、施設利用をしたくない人は一日中一人で過ごしているようだ。昔のように1～2時間家の庭で話ができると（若い時の私がそうだったように）料理の話、昔話など聞くことで勉強になったように思う。
(女性 70 代以上)
- 問 17 の2について日々テレビでみる事件、交通事故は事前に防げるように思われる。町内で危険な箇所をマークして住民の情報を的確に伝えて協力し合うようにしていく。
(女性 70 代以上)

活動拠点について(4 件)

- 活動に参加、図書館など特定の用がないと使えない。“まちのえき”のように、もう少し気軽に子どもや主婦など、休める場所が欲しい。
(男性 50 代)
- 富士川や、川の学校を総合アウトドア施設へ。年齢層関係なくコミュニティ発信基地とし、来場者数を上げ、なくてはならない場所とする。
(男性 50 代)
- 地区ごとにある企業に依頼して、地区民が集まれる場所を提供してもらい、その地区の問題点を話し合えば活動になるのでは。
(男性 60 代)
- 今の社会は他人の家に行くこともできない状況なので高齢者同士が憩える場所が必要。
(女性 70 代以上)

問 18 (つづき)

地区まちづくりセンターの運営について(12 件)

- まちづくりセンターの講座は安くて何度か利用したことがあるが、家から近い場所や時間帯に自分の参加したい講座がなかったため、講座の種類の実と回数や時間帯を幅広く設定してほしい。そうすれば社会人の方々ももっと参加できて利用できるのではと思う。(女性 30代)
- まちづくりセンターでの、小学生などへの将棋教室、手芸、料理等さまざまな教室。高齢の方で、子どもに教えてくれる活動があるとよいのでは。今もあると思うが、充実させてほしい。お互いのコミュニケーションにもなる。(女性 40代)
- まちづくりセンターは「対・人」というところで働いているにもかかわらず、冷たくてなぜか、「何しに来たの？」みたいな言葉づかい、やる気がない人はいらぬのではいつも思う。仕事だから、やる気がある人に働いてほしい。(女性 50代)
- まちづくりセンターにおいて活動している講座をもう少しふやしてほしい(簡単なストレッチなど)。(女性 50代)
- 指定管理者制度の検討。複合施設への移行。(女性 60代)
- まちづくりセンターの職員の接客態度が悪い。暗い感じで挨拶もろくにできない。物を食べながら窓口に出る。まちづくり活動の拠点となりにくい。(女性 60代)
- まちづくりセンターに、リサイクル衣料BOXが設置されていて、大変よいことだと思う。ただ、今年からビニール袋が市の指定のものを使用するように改定され(以前から)私は意見を伝えたい。私たちがセンターへ持参する衣料は清潔で次の方も使えるもの、災害地区、海外、またあまり新しいものは買えない方々へ使っていただけるものをよく厳選して運ぶ。そうでないものは、市の決められた第一火曜日に、地区の集積場へ指定の袋に入れて出している。なので、再利用できる衣料は有料の指定袋でなくても透明の袋でよいのではないだろうか、市民は十分、良識をもって分別しているつもりだ。(女性 70代以上)
- まちづくりセンターで12時まで活動して、12時10分ごろ退室していたのが、現在は厳しくなり12時まで退室してくださいと指導されている。もっとゆるやかでよいのでは?と思うが職員の食事時間のためだろうか?(女性 70代以上)
- 職員の態度が悪い、挨拶をしても返ってこない。笑顔もない。私は編み物で利用させてもらっている。編み図が欲しくてコピーをしてもらおうと思ってもお願いすると著作権がどうか言ってコピーをしてくれるにも何か一言いわないとコピーしてくれない。編み図がないと編めない。コンビニに行ってコピーしてこなければならぬ。その日は一日何もできなくて困る。もう少し融通を利かせてほしい。もう少し気を配ってもらいたい。また畳の部屋を使うが、私は膝が痛くて座れない。椅子は畳の部屋では使えないそうだ。困っている。(女性 70代以上)
- 月に2回ほど、趣味の会とボランティアの会合で使用しているが、駐車場が少なく、また利用者が高齢のため机、椅子の片づけなど大変になっている。ここに少し手助けがあれば、高齢者は助かる。(女性 70代以上)
- まちづくりセンターのガラス拭きは職員だけでは大変だと思うので使用している団体が当番制で年に一回くらいしたほうがよい。(女性 70代以上)
- 近くて利用しやすい。(女性 70代以上)

問 18 (つづき)

交通問題・ハード面としてのまちづくりについて(15件)

- J R 線（その他在来線）と新幹線の統一化。 (男性 30代)
- ウオーキングや名所の所を歩いていると、車の交通量が多く、危険な所があるので、遊歩道など歩行者が安心・安全に歩けるようにしてもらいたい。また、休憩所や水飲み場などを設置してあるとよい。 (男性 60代)
- 富士市の住みやすい環境づくりは、歩道、通学路、高齢者のための補助道路（高齢者が乗れる電動車の通路）などの整備も大切だ。市民の活動にだけ力を入れるのではなく、インフラの遅れを早く進めるべき。 (男性 70代以上)
- 夜の富士急静岡バスは、バスの本数が少なくて困っている。 (女性 10代)
- 老人ホームを地区に設置してほしい。9割高齢者だし、景色もいいので住んでいる地区には需要があると思う。 (女性 20代)
- 小学校の通学路に防犯カメラの設置。高齢者の交通費（公共バス・タクシー）の割引。 (女性 30代)
- 工場があり、大型トラックの往来が激しい割に道が狭いので、企業と話し合っって地元の車や人、子どもが安心して通れる道路にしてほしい。カーブミラーもつけてほしい。 (女性 40代)
- 夜道は暗いところがたくさんある。明るくしてもらえると、子どもが成長していく上で助かる。 (女性 40代)
- 高齢者の運転事故多発を減らすための、高齢者への便宜を充実させ、運転せずとも買い物や行政手続きができるような移動まちづくりセンター車があったらよいと思う。 (女性 60代)
- 高齢になって行事に参加するのも大変になってくる。買い物や交通手段にも困る。免許を返納しても困らないよう、日常生活に必要な物資を購入できるスーパーを各地域に設置してほしい。 (女性 60代)
- 高齢者の交通事故のニュースが毎日のように流れているが、交通の便の悪い大淵では、自動車が運転できなくなると大変住みにくい地区になるので、大淵の大富とか次郎長の方までバスが通るならとてもうれしい。そうしたら免許も返納できるようになると思うので、一日も早く実行されることを願っている。 (女性 70代以上)
- 高齢で病院への乗り物がないので行くことができないイベントがあっても行くことができない。なんとかできないのだろうか？ (女性 70代以上)
- 富士南地区のコミュニティバス、「みなバス」について希望したい。バスは平日のみ、朝7時台発（三四軒屋バス停発）3本（9時台発が最終）で、土日は全くないので、外出できないのが現実である。また、みなバスは、乗降のステップが高く、足の不自由な高齢者は乗車できない。おまけに、つかまって乗る所もなく、降りる際に押すボタンには、手が届かないためバスが来ても不自由だ。1日も早く、「陸の孤島」から解放されたい。病院への通院もできない。ボディがピンク色のバスタイプに、一日も早く改造してほしい。 (女性 70代以上)
- 公道の道幅を新築（建てかえ）などの折に地主と話し合い広げてほしい。救急車・消防車が入りにくいが家が密集している所が多い。 (女性 70代以上)

問 18 (つづき)

- 車の免許証を返納したが、交通手段がなく、買い物、通院、駅への歩行などで困っている高齢者が多い。まちづくり活動の1つとして何とかしようとする企画をお願いしたい。空き家が多い。
(女性 70代以上)

その他行政への要望について(6件)

- 地元で就職で戻ってこない人も戻ってきたいと思える、地元外の人でも就職したいと思える、子育てしやすい、そんな“まちづくり”はできないか？住んでいる人が主体で行政が手助けして、まちづくり活動をボランティアにしないで、報酬が出るようにする、そこに就職先が新たに生まれる、行政と住民のパイプ役をつくってみてはどうか？
(女性 20代)
- 日ごろの生活での不便の改善を行政に求めたところで、なかなか改良されないのが現実なので、この地域でのことに限ったことではないが、行政に対してあまり期待していない思いがあるのも正直なところだ。
(女性 50代)
- 子どもたちのためではなく、高齢者に対しての対策を考えてほしい。車の運転など、免許返納後の高齢者への対策など。
(女性 50代)
- 家の中の片づけをすると、捨てるにはもったいない物が出てくる。必要とする人、場所を紹介してもらえるとありがたい。
(女性 60代)
- 災害、地震のときなど近くのまちづくりセンターに避難できると助かる。
(女性 70代以上)
- 数年後には団塊の世代第一団（昭和22年生 72歳）が敬老会の対象になろうとしているが、余りにも急な増加人数で敬老会の贈答品他経費が（長生100歳時代）毎年増加し続け、市財政の圧迫になる。ごく一部の人を除いて、昔の70歳代と違い、今の70歳代は若くて元気である。自分では高齢者と思っていない人が多い。70歳代の敬老会の浮いた費用は、子ども、青少年、障害者、環境問題のために使ってほしい。
(女性 70代以上)

これからのまちづくりについて(12件)

- 美大の学生などとコラボ。固定概念からの脱却。市が本気であるのならば協力する。
(男性 30代)
- もっと富士山を活用した富士市全体のアピールをしっかりと、お客さんを迎える、もてなす、観光していただく、戻ってきてもらえる準備を企業と一体でやる。市ができないなら民間を活用し、まじやってみる！
(男性 40代)
- 若い人が住みたくなるようなまちづくり。若い人たちが中心となり、活動できる環境づくり。
(男性 60代)
- 20代中盤以降の若者たちの居場所やコミュニティがないように感じる。ファミリー層は、イオン富士南店などで買い物をしたり休日を過ごす場所があるが、結婚をしていない若者たちは、東京や静岡に出て楽しみを探している。FUJI&SUNのように、若者が参加しやすいイベントづくり、アートクラフトフェアや食のイベント、スポーツイベントなどで活気を取り戻してほしい。民間企業との協賛も欲しい。ここが足りない、これがあればなど、富士に移住して来た人たちへの意見を参考にしてみたらどうか。
(男性 60代)

問 18 (つづき)

- 犯罪者マップなどをつくるとよい。買い物できない人たちのための購買システムをつくってほしい。まちづくりセンターの土日の稼働。バスの運行も、病院経由でいろいろつなげるとよい。小学校にもマイクロバスでの送迎もあったらよい。田子の浦にも釣り公園でもつくったら少しは人が来るかも。利子のない奨学システム、成績に応じて優遇するシステム。(男性 60代)
- 地区内の観光資源を洗い出し、地区連携で観光ルートの設定を図る。中途半端な25万都市より、8万地域圏×3を考える。(男性 70代以上)
- 富士市の長所、短所など、わかりやすいことから取り組み、多くの皆さんと楽しく意見交換会から始めていただきたい。(男性 70代以上)
- 海外の人との交流。観光客をふやす取り組み。富士市民が世界に目を向けるための取り組み。そのきっかけをつくるための活動を提供してほしい。スポーツを通じてまちおこしをする。富士山女子駅伝を全国にもっとPRするべき！(女性 20代)
- 正直なところ、富士市と合併してからよかったと思うことはない。住む環境としてはよい地域だが、すごく不便である。車がなくても生活できるようになること。市街地への交通手段の確保(利用しやすいもの)、商業施設の増加、特に100円ショップが欲しいという声多数。(女性 30代)
- 富士駅、新富士駅に駅ビルを建設。周辺の店に発展。交通機関の充実。(女性 50代)
- 小学校、中学校の防災訓練時の引き取り訓練が昨今の母親の就労状況に適していないと思う。訓練日だといって、早引き、中抜けなどして決められた時間に引き取りに行くことが多いと思う。本当の災害時には交通麻痺する、通信手段も麻痺することを考えると、引き取りそのものが困難だろう。まちづくりセンター、公会堂など各地区の建物を利用し、中学生がリーダーとなって地区の小学生を引率し、より自宅近くの建物まで連れていく。地区の役員がその後父母の引き取りを待つという形などを考えたことがある。(女性 50代)
- 高齢化が進んでいる地区なので、もっと若い世代の住みやすい地域にできたらいいなと思っている。古い考え方がまだ残っている気がする。(女性 60代)

その他(11件)

- 回覧板の多言語化が必要ではないか(外国人もふえつつあるので)。(男性 20代)
- 田子の浦地区の名産は「しらす」。それ以外にPRできるものが欲しい。(男性 40代)
- 当面思い浮かばない。(男性 70代以上)
- すごく立派な言葉だけど実際に行動をしている主だった人は、裏に回ったら何をしてくれるかわからない。私はこういう活動は親交しない。汚れきっている。(男性 70代以上)
- 仕事でよく車を運転するのだが、特に高校生の自転車通学はもう少しちゃんとしてほしいと思う。道路を学生2人が自転車でも真ん中を走り、他車のクラクションにも無視をして走っている学生を見て心が痛んだ。自転車の乗り方、道路でのルールやそれが守れないのであればきちんと罰則を適用するなどしてほしいと思った。ただでさえ、高齢者の車の事故がよくニュースであげられているが、自転車も特に気をつけないといけない問題だと考えている。(女性 20代)
- 浜松の黒板とキッチンが活動が好きだ。(女性 20代)
- 病気がよくなったら参加したい。病気でも参加できるか知りたい。(女性 30代)

V 自由意見

問 18 (つづき)

- 今は考える余裕がない。 (女性 40代)
- 特別何も期待することがない。 (女性 60代)
- ここ数年は、自宅の前を東海道ウォーキングの人々が四季を通して歩いている。これらの人々に外で出会った折は、挨拶を積極的にし、道案内もするが、もう一步踏み込んだ会話ができる機会と場所があればと常々感じる。トイレ休憩のポイントすらない。 (女性 60代)
- 町内に、水が湧き出る浅い池がある公園がある。その池がここ何年も使われていない様子である。子どもが小さいころは、そこで水遊びをさせている人でにぎわっていた。せっかくよい公園なので、また使えるようになるとよいと思う。 (女性 70代以上)

問 33 あなたが「青少年の健全育成について」思うことを自由に記入してください。

家族関係・家庭環境について(63 件)

- 親次第だと思っている。 (男性 20代)
- 家庭で子育てをする親に補助金を出したらどうか？保育園設立の経費、保育士の経費を保育ママに回せば、第2子もつくりやすくなる。女性の社会参加をよしとする傾向にあるが女にしかできない出産、子育てができるように補助金を出して、母の胸の中で抱き締めて育児ができるまことに！近ごろ愛情をお金にすりかえて育てている、茶髪にしてネイルを塗って車に乗り出かける母の姿に子は何を思うか。ヨイトマケの歌にある母の後ろ姿には感謝の気持が生まれる。ニートも自殺も大きくなってからでは遅い。また、食卓にスーパーのでき合いの総菜ではなく手づくりの心のこもった料理を並べること、女性の役割は大きい！ (男性 30代)
- ニート、ひきこもりを無視しないで、できるだけかかわってほしい。まず、元気に挨拶。そして、朝食を家族でとること。 (男性 40代)
- 子どものころのしつけ、いろんな話し合いなどで、よしあしを自分で考えるようになると思う。一番の問題は、家庭環境だと思う。 (男性 50代)
- 甘やかせ過ぎ。 (男性 50代)
- ニートの問題は先まで長引く問題。早い解決が必要。将来税金（生活保護）まで使って生活させるのは問題。 (男性 50代)
- 親が甘い。親ばか、子離れしていないのでまずは親から。 (男性 60代)
- 家庭がしっかりしていない。 (男性 60代)
- 家族のきずなづくり。 (男性 60代)
- 子どもが小学校の低学年のうちに通学時は、母親と一緒に歩いて行くくらいのほうがほほ笑ましくてよい。近所の外国のお母さんは毎日のように子どもを送り迎えしている。日本のお母さんも頑張れと言いたい。 (男性 60代)
- 家庭におけるしつけが第一と考える。それには、親自身の行動、言動に注意。 (男性 60代)
- 青少年というより、保護者の所得、貧困、親の環境が悪いのが原因。 (男性 60代)
- 家庭教育の重要性。 (男性 70代以上)
- 団塊世代の私にはこういう問題はなかった。全て親の教育が悪い。 (男性 70代以上)
- モラルや責任は親が教えるもので、学校が教えるものではない。 (男性 70代以上)
- 家族構成（親子、両親、3世代同居など）友達づき合い。 (男性 70代以上)
- 両親がしっかりしていなければだめ、ふだんから子どもとコミュニケーションをとっていれば子どもは非行に走らない。 (男性 70代以上)
- 家庭環境が、まず大切だ。子どもを持つときからの親の教育が重要。夫婦で受けられる「親の心構え」などの講座を身近で行える機会を設けたらどうか。 (男性 70代以上)
- 高齢夫婦の子どもが非行に走りやすい（しつけが難しいためなどで）と聞いたことがあるが、金銭的に余裕があっても非行に走る子はいる。第三者の介入が必要だと思う。 (女性 20代)

問 33 (つづき)

- ニート、ひきこもりになっている青少年を育成することよりも、そういった青少年に育てないよう、親たちを育成すべきだと思う。いじめられたら親に言えない子が多過ぎる。そういった環境をつくっているのは親自身。子どもたちが親に打ち解ける環境をつくれるように親を育成すべき。
(女性 20代)
- 学校教育も重要だと思うが、学校教育ばかりに負担をかけるべきではなく、家庭内での関わりや地域での活動の機会がもっと盛んになるとよいと思う。
(女性 20代)
- 昔と違い今は、親に怒られた、頭を叩かれた、それだけで保護され、何でも甘く許される時代になっている。これでよいのだろうか。甘やかしてるから、まあいいかとニートがふえる。成長期に全て決まると言うこの時代、成長期に甘やかしていいのか。
(女性 30代)
- 子どもの問題は、基本的に親に問題があるケースが多いと思っている。親の変化やそれを支える支援先が必要だと思う。
(女性 40代)
- まずは、親への教育も必要だと思う。
(女性 40代)
- 親が、子どもにかかわる時間が少ないのではないか。幼少期から、地域のコミュニティに参加して、みんなで子どもを育てていく（声かけなど）ようになったらよいと思う。
(女性 40代)
- 自分に自信を持つ。相談できる友人、家族が必要。ただ、親がしつけ、当たり前のことを教えても、行動するのは本人。子を信じてあげる。最近の親を見ていると、愛情や優しさについての考え方が、少しずれている気がする。子のわがまま、いけないことも何も言えない親が多い。
(女性 40代)
- 家庭環境によるところが大きい。親が不健全ならば、子どもも不健全になるケースがほとんどだと感じている。
(女性 40代)
- 青少年になる前の幼少期での親とのかかわりまたは子育てにおいて、親と子の心の余裕をどうしたら持てるのか。そこに行政の手助けがあったらと思う。周りの皆も余裕がなさ過ぎ、皆、生活にいっぱいいっぱいな人が多い。そういう家庭の子にちくちくいじめられている子どもがいるのが現実。
(女性 40代)
- 小さいころから自分が必要とされていると思える体験を多くさせたり、自信を持たせてあげる。褒めてあげることが大切だと思う。
(女性 50代)
- 社会的に守ることも大切だが、親子関係が一番大切なことと思う。家庭があって社会があるのだと思う。親育てをしなくてはいけないのかと考えるが、ひきこもりになってしまってからでは遅い。生まれてから3歳までの間にしっかり親子関係をつくらなくてはならないと思う。
(女性 50代)
- 親も完璧な人間ではないと思うし、助け合って支援することと、本人にプラスになり前向きになれる健全な機会があるとよいと思う。
(女性 50代)
- 親がゲームや携帯などをしていて、子どもとの会話が少なくなっているのでは？と感じる。子どもを公園で遊ばせて近くで親がゲームをして座っているのをよく見かける。親を教育したほうがよい？と思うことがよくある。
(女性 50代)
- 家庭が一番大切。夫、妻、子、祖父母、それぞれの役割を果たす。なんでも話し合える家族が大切と思う。
(女性 50代)
- 大人たちが幻滅されないように生活する。
(女性 50代)
- 母親が仕事をしていて子どものことまで気が回らない家庭が多いと思う。私は、子どもが小さいときは専業主婦で子育てができたので、余裕をもって子どもを育てることができて幸せだったと感じている。
(女性 50代)

問 33 (つづき)

- 家庭だけで解決できないと思うが、周りの目を気にして相談できず、苦しんでいる親に対してのサポートが必要ではないか。 (女性 50代)
- 家族間の信頼、何でも話せる環境づくり。子どもの戻るところは親であり、子どもが困ったときに頼れる親になること。子どもだけに責任はない。その子どもを育てたのは親だから、まずは困ったときに助けてあげられる親にならなければと。育てた親の責任は大である。小さいころから甘やかされると外に出て耐えられなくなるものだ。 (女性 60代)
- できるだけ一家団らんの食事を心がけ、家族で話し合う機会をつくる。そして子どもたちが、一日どういふことをしたのか、どう思っているのかを聞き出せる雰囲気づくりをしていけば、「不登校」や「いじめ」もよくなってくるのではと思った。 (女性 60代)
- ちゃんと育てたつもりだが、結果、次女は学校に行かなくなり、今は遊んでいるだけのニートになってしまった。親の責任だと思う。家にも帰ってこなくなり、本当にどうしたらよいか困っている。 (女性 60代)
- 親の考え方をもう一度教育する、または考えを変化させる講演などを行うような世の中の流れになってほしい。尊徳教育は親のほうが必要。親が変われば子は変わらと思う。 (女性 60代)
- 全て親の責任であり、家庭環境。 (女性 60代)
- まずは、自分が産んだ子どもを安心してせめて2歳まで自分たちが育てていける社会づくりが大切だと思えてならない。働くことより育てること、他人に任せるよりも自分たちが育てることが大事と思える。 (女性 60代)
- 親がもっと自分の子どもを責任持って育ててほしい。 (女性 60代)
- 一日の中で、笑顔が自然にできる家庭生活。両親が子どもを愛することが大事。 (女性 60代)
- 幼少のころから親の関係でグループがあったり、その輪に入れない親子が後々いじめに遭ったり、その後ひきこもりなど。インターネットの進歩もある意味、健全育成には悪影響もあると思う。とにかく、本人の自分に自信を持てるもの、楽しいと思える「モノ」「ひと」との出会い。本人も周りの大人もそれを大切にしたい。 (女性 60代)
- 祖父母、父母が余りにも忙し過ぎる。帰宅しても家事に追われ、子どもに温かな声かけもできない。幼稚園、保育園の先生方に、頼り切っている。子どもは家庭で、安らぎが全然ない。多感な年ごろの青少年になってからでは、大人はどうにもならないので、早くから対策を。 (女性 70代以上)
- 問題を起こしたり、反社会の道に走ったりする青少年の多くは原点である家庭にあると思う。便利さを求め機械化された社会。家族間の意思疎通の欠落、次に生育歴の複雑さなどの問題が多い世の中。青少年の健全育成は生を受けた時点で始まる。家庭でできない子育てを健全な保育所、その他の施設でカバーし今は社会全体で子どもを育てなければならぬと思う。 (女性 70代以上)
- 何でも話せる家族になるとよい。昔から親の背中を見て育つと言うが、心にゆとりがあると、親も子ども、ゆっくり会話ができて、よいところが見えてくると思う。 (女性 70代以上)
- 「家庭」に尽きると思う。生まれたときからの環境、しつけ、教育など、価値観が多様化した現在、できるだけ大勢の人がかかわり、さまざまな経験を積ませることがよい。 (女性 70代以上)
- 家庭の中で親がまず行動。ありがたいの挨拶、感謝の心を日々子どもに見せたらよい子に育つと思う。 (女性 70代以上)
- 社会における最小の機関である家庭での充実した家族関係づくりが大切だと思う。 (女性 70代以上)

問 33 (つづき)

- 大勢の青少年が道を外れないよう、健全な人になってほしい。その鍵は家族のきずなにあると思う。親にも責任があることを思って、さまざまな話し合いの中から子を見守ることで非行などが少なくなしてほしい。(女性 70代以上)
- 昭和、平成と時代の感覚が異なり健全な育成は難しいが、昔も今も家庭のしつけだと思う。ただし、育成する親にも感覚に違いがあり、親子ともども育成が必要と思われる。(女性 70代以上)
- 幼児期の母親の子どもに対する目配り、気配りが大切だと思う。親が子どもによい影響を与えるような生き方をすることが大事だと思う。(女性 70代以上)
- 主に家庭環境が問題だと思う。(女性 70代以上)
- 家族の関係がしっかりしていること。お互いを尊重し合い話のできる関係。(女性 70代以上)
- 親の生活態度が一番大事だと思う。(女性 70代以上)
- 家庭環境にも影響があると思うので家族のきずなを深める。(女性 70代以上)
- これからの時代、自分の力で生き抜く力を持つことが、人としてのたくましさだと思う。善悪をしっかり理解し、決して他者を傷つけない常識を身につけてほしい。それには第一、第二に家庭教育である。(女性 70代以上)
- 忙しい核家族でなく、経済的にも精神的にもゆとりのある祖母、祖父と住むことにより「世の中はこうあるべき」ということを自然に学べるのではないか。(女性 70代以上)
- 学校だけが教育の場ではなく、家庭における毎日の行いの中でいろんな教育ができると思う。頭でっかちの人間をつくるより、普通でよいので優しい思いやりのある人間に育ったら世の中も変わってくるんじゃないかと思う。対話のできる子が少ないと言われているが、スマホとか文字だけの世界にとりつかれて、人間として一番大切なものが失われている現実に来ていると思う。古い考え方と思われると思うが、道徳的な面がなくなって、恐ろしい時代に入っていくんじゃないかと心配している。だから精神面にとっても弱い性格になり、ちょっとしたことでダメージを受けやすい人が多いと思う。(女性 70代以上)
- 学校を頼りにし過ぎる親が多い。基本は家庭なので、学校はもう少し突き放したほうがよい。(女性 年代不明)
- 子は親の背中を見て育つ、三原則、衣、食、住の厳しさと、人間として生きるための自立精神を学ばせる。かわいい子には旅をさせろ。(女性 年代不明)

青少年自身について(34件)

- 社会適応能力というのは人それぞれで異なり、いかにして足りない部分を自分の力で解決するかであると思う。(男性 20代)
- ゲームやスマホばかりやらずに、人と人のつながりを大切にしたい。(男性 40代)
- 何より本人の気持ち、やる気が一番大切だと思う。(男性 50代)
- 友人をつくる。(男性 50代)
- 今の子どもは、あまりにも一人で時間を過ごすことが多い。(男性 60代)

問 33 (つづき)

- 自分の周囲には大切な家族、親戚、友人などがいる。この人たちに自分の行為で迷惑や心配をかける道徳心を。(男性 60代)
- 「敬天愛人」。人を敬うことを知らな過ぎる。(男性 60代)
- 失敗や挫折を経験し、人に優しく、たくましく育ってほしい(成功だけを評価するのではなく)。(男性 70代以上)
- 自らの可能性に光明を見い出せる青少年育成。困難を克服できる精神的強さを持つ青少年育成。(男性 70代以上)
- どんな人間であってもどこかで必要としている誰かがいると信じてほしい。(男性 70代以上)
- 親から自立すること。(男性 70代以上)
- 少年少女の時分から社会のマナーを身につけ、ボランティア活動に参加し、また友人や自分のことを大切に子どもになってほしい。(男性 70代以上)
- スポーツをする、童話をたくさん読む。小・中・高で毎日やる。(男性 70代以上)
- 今、青少年が何を必要としているか知ってもらうことが大切だと思う。(女性 10代)
- 目の前にある困難をゆっくりでもよいので克服して、自分の将来を切り開いていける自信と勇気を持って進んでほしい。(女性 20代)
- 今の若い子はよい子ばかりだと思うので、だめだと決めつけず、そのよいところをのばして引き出すことが大切だと思う。(女性 30代)
- 世の中がせわし過ぎて、家族や地域の人とふれあう機会が減っている。インターネットの普及が加速し、知識ばかりが先行し、実行に移せない若者がふえている。自然とふれあうことが少なく、思いやりを持った人が少ないと感じる。不自由な生活を経験していないので人の痛みが分からない人が多い。地域だけの問題ではなく家庭環境や経済の問題が強いためどうしようもないと思う。(女性 30代)
- 自分で考え自分で行動する、自立した人が少なくなっているように感じる。富士市への地元愛が深い人が多い反面、地元への誇りが少ないと思う。若者たちの力で富士市をよりよくする活動などを企画、実施することでみずから目標を定め行動できる青少年の育成につなげてほしい。若者のインターネットを活用する能力は素晴らしいと思う。インターネットを規制するのではなく、よいほうにその能力を使ってもらいたい。SNSは今や何よりも早く情報が得られるツールとなった。SNSを活用し、富士市の魅力を発信する若者がたくさんふえるとうれしい。(女性 30代)
- 自分のことが好きになれる、大事に思うことができるようになれば、人のことも思いやれる。自分探しにより、考えさせることが大切だと思う。(女性 40代)
- 前をしっかり向いて、その先にある目標に対する努力をしてほしい。(女性 40代)
- 社会のマナーやルールが守られていないので残念。(女性 50代)
- 何をするにも、よしあしの判断が足りない青少年が多過ぎる。自分がこの先、生きていくことを考えていない。やはり親、地域に対しての甘えがあるのでは？(女性 50代)
- 学問の知識より、道徳やマナーなどを小学校低学年から身につけてほしい。高齢者や障害者に手を差し伸べるような思いやりが、社会性につながっていくと思う。(女性 50代)

問 33 (つづき)

- 青少年に限らず自己中心的な行動をとる大人が多くなってきていると思う。自分が今生きていられることの原点を考え、感謝すべき。そして、各人がもっとおのれを大切にすべき。自分自身を大切にすることによって相手を思いやる気持ちも生まれてくると思う。(女性 50代)
- 小学生、中学生、高校生の挨拶が大変よい。お互いの声かけは、健全育成の始まりではないだろうか。(女性 50代)
- 自信を持って育ててほしい。(女性 60代)
- 子どものときから道端の雑草、畑の作物、虫たち、鳥、犬猫豚牛、魚など、あらゆる生き物への共感と、私たちが住んでいる地球という自然豊かな星への感謝を感じてほしい。(女性 60代)
- 子育てが終わり、孫を持つようになって、世間の多様化している現在、問 32 にあるような、安心して暮らせるような青年になってほしい。(女性 60代)
- 若き力に期待している。(女性 60代)
- 自己の責任をしっかりと前向きに行動すること。(女性 70代以上)
- 自分の意思をしっかりと持って頑張り抜くことができる人になってほしい。他人のことを口に出してあまり干渉しないように。(女性 70代以上)
- ゲーム、スマホ依存症、余りに自由で、幸せすぎて、戦時中の青少年と比べて一部を除いて精神性が幼い。(女性 70代以上)
- 自立心を持ってほしい。(女性 70代以上)
- 自分のことだけでなく他人を思いやる心を持つこと。(女性 70代以上)

学校教育・社会教育について(30件)

- 義務教育の中で社会性を身につけ、家庭において、豊かな心を育むことが理想的な育成だと思う。(男性 30代)
- 個々の自主性をもっと尊重すべき。育成側(指導する側)の向上。(男性 30代)
- 教育の場で人のため、世のためという達成できそうにない目標設定をするより、自分のために一生懸命生きることによりその結果としてそのようになればよいくらいの教育をしたほうがよい。普通に生きることさえできない子どもがいる。(男性 30代)
- 教育は家庭が基本だが、それだけでは問題解決できない社会になってきている。親世代の社会性、道徳心の欠如も問題の一因となってきているように感じる。学校教育と地域活動強化で、新しい世代から教育していくしかないと思う。(男性 40代)
- いじめと一くりにせず、犯罪だと思う社会性を身につける。ハラスメントについての教育。(男性 50代)
- 学校での教師の存在が、我々の世代より軽くなってきている。もっと厳しい教育を求める。(男性 50代)
- 正義感を養う。日本人のすばらしい優しい感性を守りたい。(男性 60代)

問 33 (つづき)

- いじめ、虐待が横行する今、学生生活の中で、子どもたちの心のケアができる道徳の時間をふやしてほしい。(男性 70代以上)
- 郷土愛を育むことが大事であり、国旗、国歌への愛着を図る教育が必要であると思う。(男性 70代以上)
- 自立心に芽生えた世界的視野を、行動力を培った青少年の育成に、力を入れて施策を実施してほしい。(男性 70代以上)
- 第三者の観点から客観視できる大人に育ててほしい。(女性 10代)
- いじめに対して学校の先生が真剣に対応するようお願いしたい。(女性 20代)
- 学校の役割は大きいと思うが、教職員の長時間労働が心配。適切な学校への人員配置や、事務作業の軽減など、生徒とかかわる時間を確保できるよう配慮してほしい。(女性 20代)
- 働く上で必要な敬語の使い方など本当に大切なことを小さなうちから教えてあげてほしい。(女性 30代)
- 小学校・中学校・高校の教師は、生徒を叱るということをしなくなったと感じる。ただ怒るだけや体罰はもちろんだめだが、叱るべきときに叱らない若い教師がふえた気がする。(女性 30代)
- 学校と家族の間での連携と相談。(女性 30代)
- インターネットなどの普及により、全く見ず知らずの人に対しても賛否両論、中傷の方が多いようにも思える。いじめ、ひきこもりにつながる一面でもあると思う。精神的な強さを育むことも大事だと思うが、とても難しいことだと思う。(女性 30代)
- 他者を思う心やマナーなどは幼少期に養われるものであるもので、小学校などでも教えてほしい。(女性 40代)
- 不登校となった子への見守り、いじめは犯罪であり罪が重い、格好悪いことを教えること、インターネット、SNSを利用した悪事を教えること、言葉の暴力など、教育が大事。家庭でも、学校でも、行政からも、もっと発信してほしい。(女性 40代)
- もっと学校の先生たちに、不登校、引きこもり、ニート、発達障害の子たちを理解してあげる力を身につけてほしい。(女性 40代)
- 命の尊さを教える教育。学校の先生が教育しにくい環境、保護者が余りに先生に対して言い過ぎ。事件を起こすと自分だけでなく親戚、周りの人に対し取り返しのつかないことになることを教える(道徳教育)。(女性 40代)
- 自分が子どもだったころに比べ、情報があふれていると思う。自分の意志で取捨選択できる教育が必要だと思う。(女性 40代)
- 幼少期からの道徳教育を充実させ、いじめ、虐待のない学校生活、家庭生活を送らせてあげたい。(女性 50代)
- コミュニケーション能力を身につけるための教育(学習面だけでなく)や心の教育の場をもっとふやせばよいと思う。(女性 50代)
- 子どもに接触することが多い小中学校の教師の育成が必要と思う。人口が減ってきて、選ぶことができなくなり、人材の質が低くなっている現在、育成に力を入れるべき。小さい子どもにとって、教師との関係は大きい。(女性 60代)

問 33 (つづき)

- クラブ活動などで、強い意志と目標を持ち、それに向かって努力する方法など、自分で生きていく方法、先のためにどうしたらいいか考えることを教えてほしい。(女性 60代)
- 学校のゆとり教育が問題だと思う。私は自分の子どもがいじめに遭い、そのときの学校の対応が悪くつらい思いをしてきた。個人の意見や主張など聞かず、多数の子どもの意見が正しいと見なされた。時がたち後でいじめをしていたことを聞き、あとき先生が正しい対応をしてくれればつらい日々を過ごさなかつたらろう、そしてその子どもの人生も変わってただろうと思う。もっと社会のルール・団体行動・思いやりを教育してほしい。あと学校の休みが多いように思う。(女性 60代)
- よく考える力を持つような教育を小学生のころより少しずつやり、身につけられるようになるとよいと思う。話し合いの場で、自分の考えを少しでも言える、自分の考えを持つことのできる大人になるために。(女性 60代)
- 道徳を小・中・高で教えてもらいたい。(女性 70代以上)
- 義務教育の学校生活が重要視されると思う。それには先生方が、ゆとりを持って生徒に接して個性を伸ばしてあげる環境が大事だと思う。(女性 70代以上)

相談窓口・居場所づくりについて(26件)

- 好きなことに夢中になれる環境をつくる。(男性 40代)
- 「何でも相談できる環境」が一番大事だと思う。(男性 50代)
- 会話と経験、気持ちを言葉にする。ネットは一方通行で顔が見えない安心感はあるが、その中につまみ食いでも現実には対応できない。市外(他の県や市)の情報のよい所をスピード感を持ってとり入れてほしい。富士市は形式的にはできているが、活動はかなり消極的。民間に丸投げな部分が多過ぎる。市民もなお消極的になる。市の情報を市民に届けて、手段が「電話かけてください」「専門家へ」ではない、本人や家族が少しでも不安を埋められる情報を発信すること。それには「窓口へ」はだめ。本人や家族が外にSOSを出せる勇気があるなら重症化していない。彼らにとって、初めの一步は果てしなく高い壁である。「傾聴」も、高い壁、勇気が必要。もう少しスモールステップを。個人のたまかなデータを集めることもできると思う。ネットの利点を生かして。(男性 50代)
- 地域の行事に小学生のころはよく参加していても年齢が上がるにつれて参加する人が少なくなってくると思うので、そういう人たちを参加させる場面をつくってあげられたらよいと思う。(男性 50代)
- 喜怒哀楽の共有の場、機会をふやす。(男性 50代)
- 気軽な職業(仕事)体験ができる場所をつくる。(男性 70代以上)
- いろいろな行事への参加。(男性 70代以上)
- 青少年がもっと活躍できる場の存在をもっとPRしてほしい。(女性 10代)
- 青少年の居場所をたくさんつくることで、年齢、性別、障害の有無関係なくその人の可能性が広がる。(女性 20代)
- 人それぞれに事情があると思うので、相談窓口の設置やNPO法人などにも相談できる環境を整えることが重要だと考える。環境に大きく左右されると思う。(女性 20代)

問 33 (つづき)

- 若い人たちが積極的に活動できる場をつくるべきだと思う。(女性 20代)
- 自分が考えていること、思うことを話せる人や環境、場所などがあれば一步前進するのではないかなと思う。(女性 40代)
- 家庭という狭い社会だけでなく、スポーツ少年団に所属したり、親以外の大人とかかわったり、縦割りの他人とのかかわりを持つ。同学年、家族など、自分にとって居心地がいいコミュニティーから外に出て、困難に立ち向かう経験が必要。(女性 40代)
- 核家族がふえているので、幼少期から社会活動に参加するなど、見聞を広げるためのイベントがあるとよい。家族内でカバーできないことも多くあると思う。(女性 40代)
- 自分の子どもに対してもそうだが、自然とふれあう機会をふやしてあげたいと思う。(女性 40代)
- かつて「青少年の船」や「ししどて学級」などの活動に参加していたが、人とかかわり多くを学ぶことのできる場として、かけがえのないものであると感じた。そういった活動をより活発にすることで、子どもたちの力を伸ばしていけると思う。(女性 40代)
- 「相談窓口」とあっても、相談が気楽にできないからこそニートやひきこもりや不登校があると思う。義務教育の中で1か月くらいごとに、心配事、困っていることなど何でも書いていい用紙に記入させ、教員ではなく、臨床心理士が見て判断し、心理士から親に直接連絡し、今後を考えるのはどうか。最近の教員は人間的に当てにならない。相談もできる状態ではない。(女性 50代)
- 何か問題が起きて家庭で解決できなくなったら、家だけの問題にしないで、友人・知人・親戚、市や県の専門機関にいち早く相談して進めていったほうが、早く解決すると思う。(女性 50代)
- 青少年の性感染症の相談窓口もあるとよいと思う。(女性 50代)
- ニート、ひきこもり、発達障害を抱える青少年が社会に対応できるように、養成施設を設立した方がよいと思う。現在は、施設が少ないようである。(女性 50代)
- 一つのことに集中して活動できる場所があること。皆から見守られている環境であること。(女性 60代)
- 人は、十分に愛されていると実感できないと、心身ともに健やかに生きられない(草花が水なしで育たないのと同じ)。愛情をふりそそいでくれる人とめぐり合わせることが目標に、活動することが大切だと思う。(女性 60代)
- 自分自身に自信が持てるようにすること、自分が唯一無二のかけがえのない存在であること、生きていること自体がすばらしいことを自覚できるようにする。それには、生まれたときから大切な存在であることを伝えるべきだと思う。今、現在、若い親自身が孤独で大人になりきれていないと思う。フィンランドだったと思うが、子どもが生まれると子育てに必要なグッズを区や市から支給され、保健師か看護師が産後1か月くらいだったか子育てを手伝っていた。子どもが生まれたら皆で育てる。今いろいろな家庭環境があるが、それは生まれた子どもに責任はない。みんなで子どもを大切にできる環境にしたい。また、単親世帯や忙しい親が多い現状なので子ども食堂など、子どもの居場所づくりも大切だと思う。子どもが大切にされているということを実感できれば健全に育っていくのではないかなと思う。(女性 60代)
- 異業種間の交流の機会、場を設ける。(女性 70代以上)
- 一番には友達がないことが問題であると思うので、誰でも参加しやすい行事をふやす。(女性 70代以上)

問 33 (つづき)

- 本人の意志を尊重し、じっくりと話を聞くこともよいのではないかと思う。疑問に思っていること、どうしたいとか。話している間は、口を出さず相手の目をしっかり見る。わかりやすく話す。
(女性 70代以上)

地域の活動・つながりについて(23件)

- ジュニアリーダー、シニアリーダーといった活動の認知度が低いと感じる。回覧板やメディアを活用し、認知度を高めるべき。
(男性 20代)
- 今後も見守っていききたい。
(男性 50代)
- 地域ぐるみによる見守り(声かけなど)。野球、サッカーなどの集団活動の体験。
(男性 60代)
- 地域密着してとはいえ、まだまだ不十分であると思う。これからふえていく高齢者の力をもっと活用していく方法はあるはず。
(男性 60代)
- 私たちが生きてきた青少年時代と“今”とでは時代が違う。対応も同様だと思う。
(男性 60代)
- 富士市の皆で挨拶から始めては。
(男性 70代以上)
- 高齢者がほとんど占めていて若い人が地域にいないので、情報も入ってこないし、活躍する場もない。
(女性 20代)
- 地域みんなで子どもたちを見守り育てることが望ましいと思うが、安心、安全でない現代なかなか難しいと感じる。
(女性 30代)
- 子どもが学校や家で体験できないことを学べたらうれしい。自分が子どものころは児童館で高齢者にわらじづくりを教してもらったりと地域で子どもとおじいさん、おばあさんとふれあう機会がたくさんあったので、自分の子どもたちにも、高齢者の方とふれあう場があるとよい。
(女性 30代)
- 最近の青少年は弱々しい人が多いが、もっと子どものころに地域の行事に参加させて近所づき合いや友達づき合いをしていき、コミュニケーションをとった方がよい。インターネットが普及していない時代は外で遊んだりして健全だったが、現在はパソコン、ゲームと家で遊ぶ子どもがふえてよくないと思う。
(女性 30代)
- 草の根の活動(学校・役所・住民)の情報交換が安易に行われるようにしたい。
(女性 40代)
- 青少年の健全育成に役立つと思われる活動にボランティア活動があると思うが、ボランティア活動イコールゴミ掃除というイメージから抜け出すことができない。子どもが参加したボランティアで唯一楽しそうだなと感じたのは、「竹かぐや」の催事、準備だった。活動の中に清掃が入ることは当然だと思うが、それだけでなく、「竹かぐや」のような、芸術活動に少しふれることができたり、楽しさを感じられたりする内容が含まれた活動があればよいと思った。
(女性 40代)
- 地区の清掃を高齢者会、子ども会、地域の順番とか分けずに、いろいろな世代の人が一緒に清掃するとよいと思う。核家族になって自分本位が過ぎると思う。力のない高齢者を助けるくらいの気持ちを育てなくては、将来が心配である。子ども会の清掃日に、子どもは塾だからと親が出ていてあきれられる。
(女性 60代)
- 地区の人たちの声かけ。
(女性 60代)

問 33 (つづき)

- 今の 70~80 代の人たちが 20 代のころ (昭和 30 年代ごろ)、各地区に青年団があって、その地区の小学校の運動会に青年団チームとして参加していた。フォークダンスをしたり、リレーをしたり、懐かしく思う。 (女性 60 代)
- 明るく元気のよい青少年がふえるように地域も含めて見守るようにしていきたい。 (女性 60 代)
- 押しつけではなくコミュニケーションと信頼関係ができることで育成されると思う。 (女性 60 代)
- 小さいころからなるべく地域行事へ参加するなど、多くの人とかかわる中で自分勝手にいかない、みんなと仲よくしないと孤立する、我慢もする、人の意見も聞くことを体験させる。子どもが少ないので過保護にしている親が多い。いつまでたっても子ども扱いしては自立できない。 (女性 70 代以上)
- 昔は、青年団の集まりがあり、いろいろと彼ら主催のイベントがあった気がするが、今はないのか？ 高校生までのつき合いで終わっている気がする。 (女性 70 代以上)
- 日常的に皆さんが関心を持って目を向け、声かけをしていけたらと思う。 (女性 70 代以上)
- 地域の方々の子どもたちを見守る活動を活発にすることが大切である。子どもたちの遊び場が少ない共稼ぎの子どもを見守ってあげたく思う。寂しい思いは非行につながる。 (女性 70 代以上)
- 時代がどんなに変わろうが人の「生きる」は変わらない。生まれた時はどの子も真っ白で、色を染めていくのは社会、環境、出会い、指導。よしあしといった人の道を心が柔らかい 10 歳くらいまでに考え、取り入れられる導きがほしい。今は子どもが大人と接する機会が限られていて、親、学校の先生、習い事の先生くらいしかいない。私たちのような近所の大人と話をしたり、行動したりすると親がすぐ呼びにくる。もっといろいろな人間がいていろいろな考え、仕事があることを自分の目、耳で覚え興味を持っていろいろなことやってみて失敗して痛みやつらさを味わって進歩する。人への優しさも自分自身の大切さもわかる。健全育成につながればと願う。 (女性 70 代以上)
- 近所のふれ合いを大事にして、どの子どもにもたくさん声をかけてあげるようにする。よい行いをしたときには、思いっきり褒め、悪いときは叱るのではなく、どうして悪いのか納得できるように優しく諭す (自分の子も他人の子も)。そうすれば考えて行動する子に育っていく。認められたことを励みに成長し、成人しても何らかの支えになっていくと思う。 (女性 70 代以上)

大人・社会のあり方について(21 件)

-
-
- 大人がマナーやルールを守る姿を見せることが必要では？ (男性 50 代)
 - 大人がしっかりとした生き方を見せること。 (男性 50 代)
 - 小さな大人が、個性と未来のある大きな青少年をつぶさない。自分のくだらない常識を押しつけない。 (男性 50 代)
 - 孤立させないようにする。 (男性 50 代)
 - 我々が、青少年の手本となる大人になること。 (男性 60 代)
 - 子どもは日本の宝だ。子ども中心に考えてほしい。 (男性 60 代)
 - 1 度つまずいてもそれを糧とし、成長を周囲で認める。 (男性 70 代以上)

問 33 (つづき)

- 青少年の健全育成については、大人や社会の対応が重要だと思う。健全育成のためには、一人一人の背景を理解すべき。(女性 20代)
- 私自身、不登校を経験しているため、そのような子を支援できるような活動をいつしかしたいと思う。不登校やひきこもり、非行に走る子どもを減らすことはもちろん、そういった状況にあっても立ち直ることのできる社会になってほしい。(女性 30代)
- 健全イコールすぐれていることという感覚に少し違和感がある。人は、特に子どもは、優しくしてもらって気持ちが満たされていなければ、他人に対して優しくすることはできないと思う。何かというと禁止されることが多い子どもたちを見ていると、病むほうがかえって健全なのでは？と感じることもある。もっと寛容な家庭、社会、学校になる必要があると思う。(女性 40代)
- 青少年に接する人たちも、社会のマナーやルールを守り、他者と共存する力を持ち他人に対する思いやりと協調性を持った人が多ければ、青少年は少なからず影響を受け人柄がよくなると思う。(女性 40代)
- 大人が明るく、楽しく生活していれば、何の問題もない。ただ、「明るく、楽しく」というのは、「ダラダラと、だらしく」というのとは違う。そして、大人は、必要以上に子どもに嫌われることを恐れないほうがよい。時には「私はあんたに嫌われたって、全く痛くもかゆくもない」というくらいの態度を見せてもよいと思う。(女性 40代)
- ひきこもりやニートなどがある家庭の問題だけでなく、なぜ、そうってしまったのかの原因は社会や、成績や学歴を重視するがゆえの弱者をつくってしまうことにあると思う。また家庭環境により、子どもを進学させてあげられないなどの問題は非常に悲しいし、社会的にももったいない。奨学金などの負担も、もっと軽減させるべき。(女性 40代)
- もっと安心できる社会にしてほしい。人の心を考えない人が多過ぎる。(女性 40代)
- 子育て経験がないので安易なことは言えないが、青少年の方々が常識の範囲内で、自由に生きていける世の中になってほしいと願っている。(女性 40代)
- いけないことをしたとき誰もが叱ることができればよいが、今はそれができないのが現状である。(女性 50代)
- 個性を尊重する社会、皆と同じでない、できないことイコール悪いことという考え方を押しつけない社会。(女性 50代)
- 我慢が大事。我慢が足りないので、甘やかさない。もっと鍛える場が必要。恵まれ過ぎているのではないか。親や教師の教育指導も必要かと思う。世間一般に子どもを甘やかす傾向にあると思う。(女性 60代)
- 平等な人間関係をつくらなければならない。希望を持てる社会を。(女性 60代)
- 児童虐待が問題になっているが、少しでもなくなってもらいたい。私もテレビ、新聞を見て切ない気持ちだ。(女性 60代)
- だめなことはだめと言える大人が大切。今は、ささいなことを大げさに言い過ぎて、子どもがだめになっている気がする。(女性 70代以上)

問 33 (つづき)

行政の施策・支援について(13 件)

- いじめやショックな経験からニート、ひきこもりになってしまうと個人的に思う。また、人間関係の影響もあると思うので、未然に防ぐよう、学校や社会での施策を充実させてほしいと思う。なっ
てから治すのは難しく感じる。 (男性 20代)
- 今はインターネットの時代だが、歴史や文化など多くを学び、体験したり、なくしてはいけないこ
ともたくさんあると思う。ルールやモラル、道徳心など必要なことや大切なことは、親や政府、学
校など、それぞれが携わらなければいけないと思う。 (男性 20代)
- 市民の声から得られた素人の多数決結果をもとに政策を考えず、そういった問題を研究している
人々の意見を重視してほしい。 (男性 30代)
- 青少年の問題が年々増加していることについては、国、県、市、地区で対策をしていると思うが、
いろいろな問題があり難しいと思う。少子化など家庭環境が大きな問題だと思う。なぜ少子化が進
むか根本的な原因を解決しない限り、その場しのぎの対応(相談)では問題は解決しないと思う。
(男性 50代)
- 自分自身も「ニート」や「ひきこもり」の経験があるから、それらを悪いとは言えないが、きっか
けを手助けする機関はあってもよいと思う。 (男性 50代)
- 発達障害児の親が亡くなったときの支援が必要。ほったらかされている障害児による軽犯罪の対策
が必要。 (女性 30代)
- ひきこもりの人が起こす犯罪が多発している。身近にも知らないだけでいるかもしれないと感じた。
そのような“ひきこもり”の問題は家族だけではもはや解決できない。地域の安全のためにも、相
談、解決策の具体化を進めてほしい。 (女性 30代)
- 青少年の健全育成・支援を推進するための取り組みについて、そういった活動をしていることを知
らない人も多いかと思う。もう少し広められることができれば、青少年が抱える問題も解決してい
くことができるのではないかと思う。 (女性 30代)
- 今月から就職したので今は対象者となる子どもがいないが、離職期間が長めだったので(9か月)
その間資格取得をしたり、通院(診療内科)したり、何かと次の就職への準備や本人の心の整理な
どができたようで、必要な時間だったように思える。行政には、大人になってから判明したADH
Dなどの対応・相談窓口があるとよいと思う。 (女性 40代)
- 若者に魅力ある市になっていない。意見を聞いてあげてほしい。 (女性 50代)
- 虐待、高齢者の自動車事故、ひきこもり(8050)問題。テレビによると虐待する親は20~30歳前後
が多い。その親は50歳代だろうか。その親は80歳代。何か関係があるように思う。富士市でもあ
った。まだまだあると思う。私は50歳だ。私の親は82歳だ。子どもころ父親から虐待を受けて
いた。親戚にも何十回も助けを求めたがその場だけ。警察を呼んだがやっぱりその場だけ。私は子
どもに手を上げたことなんてない。でも親から虐待を受けて育った人は、自分も子どもを虐待して
しまいそうだ。今、始まったことではない。昔からあった問題だったのに、放置した結果がこれだ。
なるようになったという感じだ。児童相談所は、資格が必要とインターネットにあったが、資格が
あっても動かないのなら資格なんて必要ない。人間の感情がないのではないだろうか。知識しか
ないのか。それでは意味がないので資格よりもこの仕事がしたいという人になってもらったらどう
か?忙しいからなんて理由があるか?人材不足なら富士市でも大募集してほしい。虐待をする親は
子どもに依存してくる。私の親もそうだ。ずっと依存する。資格があるならわかるだろう。でも放
置する。苦しみがわからない知識だけの人たちなので。 (女性 50代)

問 33 (つづき)

- 他の地域でのニート、ひきこもり対策で成功している地域のまねをしてみるのもよいと思う。
(女性 60代)
- ゲーム機や携帯電話を市の条例で規制してほしい。自分の子には言えても他の子(友達に)引きずられてしまう。
(女性 70代以上)

雇用について(4件)

- 安定した雇用で安心して暮らせる環境づくり。
(男性 50代)
- ひきこもり、ニート、不登校、フリーターというだけで、社会の目は厳しいばかりで、結局どこにも動けずじまいだと思う。その人たちに向けた就職先(正規雇用)が欲しい。
(女性 20代)
- 定職につきたくても正規雇用がなくて困っている。資格を取れば将来は保証されると言われるが、本当なのか疑問に思うため、将来が不安になる。信頼していたことを裏切られると職につこうと思わなくなる。浪人すればいいという社会はどうかと思う。健全育成になるのかも疑問に思う。
(女性 20代)
- 親のしつけや家庭内の環境ばかりが原因ではなく、育成段階での社会の影響も大きいと思う。ひきこもりやニートの問題は、学校や社会に出てからの人間関係が大きくかかわっていると思う。また、国のその時の社会情勢で仕事が見つからず、何十、何百と面接しても仕事につけずに精神的に諦めてしまった社会人は、ずっと、貧困状態にあることも現実に目にしている。個人だけでなく、家族全員が不幸になっている。
(性別不明 年代不明)

その他(6件)

- 市より発達障害の認定を受けて現在治療している。
(男性 70代以上)
- もう少し富士を住みやすい場所にしてほしい。商業施設はもう少し栄えていて公共交通機関は便のよいものにしてほしい。
(女性 20代)
- 10代の子が「カツアゲ」を知らなかった。
(女性 30代)
- SNSなどで、個人情報簡単に流出し過ぎている。今、ひきこもっていても、インターネットや携帯などで、外の情報を簡単に得ることができるのも問題だと思う。
(女性 40代)
- 大学はない、映画館はない、ライブハウスはない。他県、他市の富士市の印象があまりよくない。大淵から、夜、南方を見ると、すごい。工場夜景?煙だ。まさに印象操作。そんな地域に知的な若者が、とどまるはずがない。若者は、見破っているから。
(女性 50代)
- 82歳と78歳の高齢者家庭で身体的に毎日の生活に追われて、若者に思いをはせる余裕はない。
(女性 70代以上)

問 41 どのようにしたら投票率の低下に歯止めがかかると思いますか。
あなたの考えを自由に記入してください。

投票方法・場所・時間について(42 件)

- インターネット、スマートフォンなどを活用した投票方法の改善、年代に合ったマニフェストの充実。支持団体、特定の年代に偏りがちではないか、それゆえ、政治に対する不信が高まるのではないか。投票率が 50%以下の場合、選挙のやり直し。(男性 20 代)
- ネット社会なので、もっとインターネット投票を利用した方がよいと思う。(男性 50 代)
- 投票所をカラオケボックスにしたらおもしろい。投票所の周りに出店を。(男性 50 代)
- 無理だと思うが、ポスト投函による投票、ネット投票など。(男性 50 代)
- 会社、スーパーなどを投票場所にする。投票日の延長。(3 日間ぐらい)(男性 50 代)
- 今回のアンケートのように、郵送での選挙制度ができると、仕事をしている人でも参加が可能になると思う。(男性 50 代)
- 開票作業に多額の税金が使われていることをみんなばかばかしく思って投票していないと思う。旧態依然とした仕組みは見直すべき。もう 2019 年。この IT 全盛の時代に、税金の無駄使い以外の何でもない。(男性 50 代)
- パソコン・スマホから投票可能なシステム(マイナンバー入力必須として)を実現すればよいのでは。(男性 70 代以上)
- インターネットの利用。(男性 70 代以上)
- どの投票所でも投票できるようにする。例えば、三ツ沢の人は富士見台まちづくりセンターでも投票できるように。(男性 70 代以上)
- 高齢者が多くなっているので、投票所に行けなくても投票できるシステムを考えてほしい。(男性 70 代以上)
- スマートフォンなどで市民、18 歳以上であることを認証できればそこから投票できるようにする。(女性 10 代)
- 投票所を決められているが家から反対の場所で不便。スーパー、コンビニなどで投票できたらよい。(女性 20 代)
- 期日前投票できる期間を長くする。期日前投票できる場所をふやす。(女性 20 代)
- SNS 投票。(女性 20 代)
- わざわざ投票する場所まで足を運ばなければならないところが難点だと思う。皆が暇なわけではないので、それだけで投票するのを面倒だと考える人が多いと思う。もっと投票の仕方を変えるべきでは。(女性 20 代)
- 投票場所を地区によって決めない。お店などに多く設ける。(女性 20 代)
- インターネット投票をメインに行う。(女性 30 代)
- もっと手軽に投票できるように投票所をふやす。(女性 30 代)

問 41 (つづき)

- 投票所の雰囲気あまりよくないように感じる。特に若い人は、入りにくいし、行きにくい。
(女性 30代)
- 仕事の都合や日曜日は家族でお出かけする人も多いと思う。若い人は特に、わざわざ投票しに行く事を面倒だと嫌う。携帯やインターネット投票で済むなら投票率は上がるかもしれない。
(女性 30代)
- 投票所をふやすなど、身近に行きやすい場所にあれば若者も行く人がふえると思う (例えば、コンビニやスーパーなど)。
(女性 30代)
- インターネットで投票できるようになるとよいと思う。このアンケートも！次回からはぜひインターネットでも回答ができるようにしてほしい。こんなにたくさん字を書いたのは久しぶり。
(女性 40代)
- 期日前投票ができる場所を、市役所、イオン以外にも、もっとふやしてみてもどうか。
(女性 40代)
- 市役所や投票所に行くことを、おっくうだと思っている人が多い。マイナンバーなどで、個人の確認ができるのだから、携帯などでの投票ができるようになればよいと思う。
(女性 40代)
- インターネット上で投票できるように整備する。乳幼児を抱える家族は、外出する時間やタイミングに限りがある。また、休日なく働くことで、投票所へ行けないこともある。
(女性 40代)
- もっと気軽に投票できる仕組み。ネットなどの活用。
(女性 40代)
- 投票所に行くのが、とにかく面倒。できれば、「投票入場券兼、投票券」みたいに折り返し、ハガキを郵送で投票する方法が楽だと思う。投票所にいる人に、ジロジロずっと見られているのがすごく嫌だ。
(女性 50代)
- パソコン、スマホから投票できるようにすれば、仕事している人、大学生の方も投票しやすいと思う。
(女性 50代)
- マイナンバーを個人が持っているので、携帯からでも投票できるようなシステムを開発してほしい。投票日の公務員の日給などを節約でき、会場の準備も要らず、投票の結果も早く出ると思うので。
(女性 50代)
- 投票所に出向かなくても投票できるようにする。
(女性 60代)
- 投票所の問題 (高齢になると行きにくい)。
(女性 60代)
- 電子投票のようなものがあれば、若者はもっと気軽に投票できるのではないか。
(女性 60代)
- コンビニなど、投票しやすい場所で、できれば気軽に。
(女性 60代)
- もうあるのかはわからないがインターネットでの投票もありではないか。
(女性 60代)
- 私は大淵に住んでいる。以前投票日に都合がつかず期日前投票をしようとしたのだが、まちづくりセンターでは投票できずやむを得ず棄権した (車の運転ができず市役所まで行けなかった)。投票しやすくしてほしい。
(女性 70代以上)
- 名前を書かせるのではなく高齢者は○をつけるなど簡単にしてほしい。自分の所は富士市でもまちなかへ行くのに乗り物がなくて行くことができない。病院へ歩いて行くことも大変なので、小さいバスでもよいので少しでもなにか考えてもらえたらうれしい。
(女性 70代以上)
- 投票箱を乗せて巡回車が回ればいかがか (時間、道順は工夫)。
(女性 70代以上)

問 41 (つづき)

- 投票所の雰囲気をよくする。 (女性 70代以上)
- 学校または職場で投票可能にする。 (女性 70代以上)
- 通学・通勤時にも投票できるようにする。 (女性 70代以上)
- インターネットでの投票を可能にする。高齢者は足がないので、シャトルバスとか巡回バスなどを出す。 (女性 年代不明)

投票への特典について(8件)

-
-
- 投票によるわかりやすいメリット。減税など。 (男性 30代)
 - コンビニ投票で税金サービス割引。 (男性 40代)
 - 投票した人には何かサービスがあるとよい。ゴミ指定袋をもらえるとか。欲しい高齢者は行くかもしれない。 (男性 60代)
 - 毎年、過去5年間の選挙に全て投票した人を選挙管理委員会で表彰する。 (男性 70代以上)
 - 投票証明による減税。 (男性 70代以上)
 - 投票と引換えにお菓子やティッシュなど物を渡せば、必ず投票に行くと思う。 (女性 30代)
 - 投票したら、得になるようなものがあれば(もらえれば)これは違反か? (女性 60代)
 - 選挙に行くことが楽しくなるようにしたらよいと思う。例えば富士の特産物がもらえるとか、特別なグッズがもらえるとか、抽せんで上は旅行券や寿司券が当たるとか、下はトイレットペーパー1つでもよい。フリーマーケットやお店を出したり、イベントにしたらどうか。 (女性 60代)

政治家、候補者自身のPRについて(35件)

-
-
- 候補者が学校や職場へアピールできれば、関心が出ると思う。選挙カーなどのアピールではなく、新しい形のアピールが必要な気がする。 (男性 20代)
 - 正直なところ候補者がわからない。選挙期間中はどのような人か公約など動画で見られるようにしたらどうか。 (男性 40代)
 - 投票のしやすさ(インターネット等)。候補者の政策をわかりやすく。政党で当落が決まってしまうため、政党をなくし全て一匹狼にする。政策などはホームページなどで見られるがそこまでする人がどれだけいるか?テレビ討論でもしてもらえるとわかりやすい。 (男性 50代)
 - 選挙カーではお願いするだけでその人のことがよくわからない。テレビ演説が少なく見逃してしまうためテレビ演説を頻繁に流す。自分もそうだが候補者のこと(考え方)がよくわからない。当選した後の活動内容がよくわからない。伝わらない。情報が少ないと思う。もっと候補者のことがわかる工夫が必要だと思う。 (男性 50代)
 - 候補者の政策の個性がわからないから投票しない。政策の重点項目がわからない。 (男性 50代)
 - 議員の活動、仕事内容が市民にもっと見えるようにする。 (男性 60代)
 - 若手候補者の立候補を促進する。候補者の主張をわかりやすく発信する。 (男性 60代)

問 41 (つづき)

- 学校の教育、候補者の積極的な若者との交流、候補者が若者に関心を持ってもらえるよう行動を
してもらおう。若者を中心に。(男性 60代)
- 選挙にPR活動、候補者の情報などが不足している。また選挙の重要性もPRすべき。
(男性 70代以上)
- マニフェストを事細かにウェブにアップして差別化して、若者に向けた施策を行えば、得票率は取
れるのではないかと。(女性 20代)
- PR活動をもっと活発に行う。(女性 20代)
- 主張の内容を知ることができる場所を教えてほしい。(女性 20代)
- 候補者は演説だけではなく、何を実現したいかを誰もがわかる情報として発信すべき。
(女性 20代)
- 当選したら何をしてくれるのか演説や記事を見て、自分の生活にプラスになることがわかれば行く
と思うから、候補者がいろんなメディアで、わかりやすく発信するしかない。(女性 30代)
- SNSやウェブサイトなど若者が情報収集しやすい手段での選挙活動にもっと力を入れた方がい
いと思う。今回投票するにあたってインターネットで候補者について調べたが、情報が少な過ぎた。
(女性 30代)
- 候補者一人一人の政策だけでなく、それに対するプロセス、結果、次回の改善点などをインターネ
ット上で分かりやすく閲覧できるようにしてほしい。候補者の中には、政策があまりにも抽象的で
何をしたいのか、何をしたいのかわからない人もいるため。(女性 30代)
- 若者が興味を持つ政策を公約に入れる。(女性 30代)
- 演説などで、できないだろうと思うことまで唱える人が多い。話をしっかりと聞く人も少ない。後
援会に出席するほど応援するでもない。地域全体で本当に必要な人を選出することも大事。
(女性 30代)
- 名前や政党だけを叫ぶ選挙カーをやめ、候補者の考えや政党の方針を説明する場を多く設ける。イ
ンターネットを使った候補者の情報提供をもっと積極的に行う。(女性 40代)
- 候補者の情報をもっとわかりやすく示してほしい。選挙カーは意味がない気がする。
(女性 40代)
- 候補者の数が多すぎて、差別化しにくい。(女性 40代)
- 人が変わっても、変わらなくても、誰がやっても何をやっているのか、わからない。
(女性 40代)
- よりよい地域となるよう候補者が住民に対し何がやりたいか、もっとわかりやすくPRする。
(女性 50代)
- 候補者が学校に行き全体講演を行い(高校、大学等)、距離感を縮めておくといよいのではないだろう
か。(女性 50代)
- 議員による目に見える活動成果(市民の抱える問題解決)が市民に伝われば議員への期待が高まり、
市民の次への投票意欲につながると思う。(女性 50代)
- 市議がよく富士駅で議会報告をしているが、聞いている人はいない。内容がなく、残念。税金で給
料が出ているのだから、演説一つにしても頑張るレベルを上げてほしい。(女性 50代)

問 41 (つづき)

- 若者に対してのPR、候補者の公約（若者に向けてどう変えどのようなメリットがあるのか）を伝える。 (女性 60代)
- 政策の内容をもっとわかりやすくする。 (女性 60代)
- 候補者の人柄などわからないため、投票に行こうと思わない。 (女性 70代以上)
- 議員の具体的な活動実績、内容などを教えてほしい。 (女性 70代以上)
- 候補者全員を集め、ディスカッションをするなど市民の参加できる場を設けてほしい。 (女性 70代以上)
- 候補者は誰がいるのか、その内容を身近にわかるとよい。職場が市外なので他の市の候補者のことはよくわかるが、自分の市の人かわからない。 (女性 70代以上)
- 一人一人の個人演説を一堂に会し、または数人ずつに分けお互いにディスカッションをさせたらそれなりの意見を出し、皆楽しく聞かせてもらい興味を持つのではないだろうか。 (女性 70代以上)
- もっと誰にでもわかりやすくしてほしい。何を言われても「本当に？」みたいなことばかり。 (女性 70代以上)
- 若い世代にも政治に関心を持ってもらえるよう、小さな演説を多くし、候補者に若者の意見を聞いてもらい、それを基に政策に反映してほしい。 (女性 70代以上)

政治家、候補者個人の資質、信頼性について(20件)

-
-
- まずは何に目を向け、改善していくのか、国や県、市町村などがはっきりしなければならないと思う。政治家になったなら、その身を削ってでも結果を出してからではないか？ 私たち市民は、身を削り、自分たちのために、家族のために、仕事をしている。国民、市民に訴える前にもう一度、政治家として、考えてみてはどうか。 (男性 20代)
 - 政治の魅力を誰にでもわかるように発信する。これまで行った政策の成功や失敗の過程や結果、検討を国民の目に映るように宣伝する。市民の声をしっかり聞いた政治を行う。 (男性 30代)
 - 誰に投票しても変わらないという意識を変えさせることが大事。立候補者の公約達成度（評価）を任期終了時に詳細に作成し、選挙前にインターネットなどで確認できるようにしたらどうか。評価の仕方は、公平性を保つことが必要だが。 (男性 30代)
 - 候補者の質向上に尽きる。 (男性 30代)
 - 公約に対しての達成率を一定期間ごと第三者がチェックして結果を公表する。本人も自己評価を行う。効果が見える化して、政治を活性化させる。 (男性 50代)
 - 市議会というと、地域の候補を選定し、地元の名の通った人材を選定すべき。支持政党で決めるではなく。 (男性 60代)
 - 私は選挙に出る人間のほとんどが自分の地位と名誉と金のために出ていると感じている。 (男性 70代以上)
 - 頭の中、心の中はお金のこと、自分のことしか見ていない。言葉ではすばらしいことを言っているが目を見れば腹が見える。 (男性 70代以上)

問 41 (つづき)

- 政治家が国民のためにやっていると思えない。余りに一貫性がない。 (男性 70 代以上)
- 議員の質の向上。活動も知らせるべき。 (男性 70 代以上)
- マニフェストを若い人にもわかるように書く。汚職をしない。市民の期待を裏切らない。 (女性 20 代)
- 候補者が上の世代の人ばかりで難しいイメージがある。同世代の人が立候補していたら少しは興味がわくと思う。若い人が政治の世界でやっていくのは大変だろうが。 (女性 20 代)
- 悪事ばかりする人や、自分のことだけを考えている人が選挙に出ているイメージがあるから、投票しても無駄だと思ってしまう。 (女性 20 代)
- 高齢の議員が多過ぎる。議員数を減らすために 60 歳以降は退職すべき。古い考えの偉そうな意見はいらない。自由に好きな議員に投票したい。 (女性 30 代)
- この人なら変えてくれるだろうと思わせる魅力的な人が候補者にいたら、皆選挙に行くと思う。 (女性 30 代)
- 候補者との日々のつながりが大切だと思う。 (女性 50 代)
- 選挙期間だけの対話ではなく、ふだんから政治に対して関心を求めて、また説明ができるように議員はすべきだと思う。もっと身近な政治を行ってほしい。 (女性 70 代以上)
- 当選してしまうと地域にあまり顔を出さなくなる議員が多いが、もっとまめに地域を大切に、顔を出し参加すること。 (女性 70 代以上)
- 候補者の人となりかわからない。本当に市のためと思う人よりも再就職先と考えている人が多い。毎月高額の収入があるが、それに見合った仕事をしているのか。 (女性 70 代以上)
- 候補者の生活や活動を市民はよく見ている。 (女性 70 代以上)

投票に対する無力感、新しい人への期待感について(15 件)

- 若年層を政治に参加させる。 (男性 30 代)
- 毎回選挙には行っているが、今回は仕事が忙しく、期日前投票にも行くことができなかった。選挙、政治に興味がなく、誰がなっても変わらないのが現実である。身近な政治 (特に市政)、意見しやすい政治になってほしいと考えている。 (男性 50 代)
- 自分の一票で少しでも変わったとの実感を伴うような議会。 (男性 70 代以上)
- はっきり言えば国政を例にとると民意が反映されていない。国政の考えと政治家の考えがかけ離れているからだと思う。 (女性 20 代)
- 国会を見ていても、都合の悪い事は隠蔽したりして、正しい情報が出てこない。しっかりと正しい情報を元に国民一人一人が選択し、反映されなければ、政治に対し諦めしか出てこない。現職政治家に誠実さが見えなければ、投票率は上がらない。一部 NPO 法人などの事業者に「市長と懇意にしているから問題ない」等の発言をしている所がある。そのような不平等や不信感がある状況では、政治に期待はできないので、投票率向上は難しいのではないかと思う。国民がしっかり向き合えば、変化すると思わせることが大切。 (女性 40 代)

問 41 (つづき)

- ものすごい人またはとんでもない人（トランプ大統領のように）がトップになり、実際に生活が一変すれば、国民が真剣に考えて議論するようになると思う。 (女性 40代)
- どこの党がやっても同じ。国のため、県のため、市のために本当に働いてくれる人がいないから、もっと結果がはっきりすればよいと思う。 (女性 40代)
- 投票率が高い高齢者などの票を集めるだけの公約などはやめてほしい。もっと子育て世代や若者が、生活しやすくなるような市政になる期待感が持てるとよいと思う。 (女性 40代)
- 自分自身も投票に関心がないので、ほとんど行かない。子どもや自分にとって身近なことにかかわりがあれば投票する気になるかもしれないが。 (女性 40代)
- 選挙で当選した人が社会を変えてくれたと実感できれば投票率が上がると思う。市民に問うのではなく行政として当選者が仕事を全うしているか監視するべきではないかと思う。マニフェストの実行。 (女性 50代)
- 投票率の事だけを考えるなら、年齢に合うポイントのような何かを。でも何でもかんでも投票率がアップすればよいのか。まずは自分たちで行動を起こすよう関心を持たせることが一番だと思う。一番の問題は、政治家への不信感！！日本人の諦めの早い気質がいけない。 (女性 60代)
- 今回も誰かアイドルは出ないのかな～と思った。もっともっと明るい、昔からこうだったんだなんて考えでなく、よし、やってみよう、それにはどうしたらいいんだろうと、熱く語り合う、そんな活動ができたらと思う。それには、役員を変え、若い考えを導入するのもよいと思う。 (女性 60代)
- 若い候補者が、立候補するようになること。市議員が、若者と交流する場をつくること。 (女性 70代以上)
- 政治が、自分たちの手で動く事を実感できたなら、投票すると思う。前進するための、社会をよくするための一票という実感と現実があまりにも遠い。政治家の責任も大だ。政治家自身を守るための選挙と見えて仕方ない。 (女性 70代以上)
- 不信感を払拭できればよいが、誰がなってもなかなか変わらない。若い人が多く立候補して、若い人の知恵や行動力が評価されるようになればいい。保守的な古臭い考え方では、変わらないと思う。 (性別不明 年代不明)

選挙啓発、有権者教育について(46件)

-
-
- 若者にもっと得があるような内容を、もっとわかりやすく言う。 (男性 20代)
 - 日本の教育に政治・経済の要素が不足していると思う。いくらPRしても、基礎知識がないので響かないのではないだろうか。初等教育の段階から、もっと教育すべきだと思う。 (男性 40代)
 - 現状を伝え、誰に投票すればどのように変わっていくのかをわかりやすく理解させる。また答えさせる機会をつくる。 (男性 50代)
 - 18歳になったから選挙に関心を持つというのではなく、もう少し前から少しずつ選挙について勉強なりさせたほうがよいと思う。 (男性 50代)
 - 政治家を選ぶのは、有権者の責任であることの意識づけ。 (男性 50代)
 - 選挙の必要性を最大限訴える。公約の出来高の公表。 (男性 60代)

問 41 (つづき)

- 民主主義の尊さ、その基本となる選挙の重要性を学校の教育からこつこつと教えていくことしか思い当たらない。長い期間かかると思うが急がば回れである。(男性 60代)
- 学校教育の場において、選挙権は国民に与えられた権利であり、義務であることを熟知させていない。(男性 60代)
- 選挙のときばかりでなく常日ごろから選挙権は国民の権利で、選挙に参加し権利を行使すべきであることを家庭及び学校教育で繰り返し教える。(男性 70代以上)
- 小学校、中学校から大学に至るまで、現在の世の中の不合理にも自分たちが立派な議員を選ぶことを教えるべきだ。先人が血を流した参政権を行使する権利に感謝すべき。(男性 70代以上)
- 自分の一票の重要性の教育。(男性 70代以上)
- 投票が民主主義の基本であることを、教育と家庭内での教え方で徹底する。(男性 70代以上)
- 大人の意識を変えない限り、若者は投票に関心を示さないだろう。投票率70%を越えれば、皆投票に行くだろう。(男性 70代以上)
- 今の若者の親世代ですら、選挙に行かない人が多いので、親子で選挙に行こう！みたいなキャッチコピーで宣伝したらよい気がする。若者は、こういうことを言っても絶対に変わらないと思っていると思う。だから、選挙にも行かないと思う。(女性 10代)
- 学校などの教育機関で知識を教えて、学校単位で進める。(女性 10代)
- 政治のことがよくわからないというのが一番大きい理由の1つだと思う。学校教育で投票することの重要性は学習したが、政党のことはよくわからない。わかりやすく簡潔にどういう考えを持っている政党なのかなどを説明してくれたら政治への関心も高まるのではないか。(女性 20代)
- 投票することの重要さの理解を広める。(女性 20代)
- 投票したいと思わせるようなPRをする。(女性 30代)
- 自分の生活に直接的に影響すると思わせなければならぬと思う。小学生でもわかりやすいように話してくれないと若者たちは意味もわかってないから、自分に関係ないと思ってしまう。(女性 30代)
- 一人一人が投票することの意義を学校教育で教える。(女性 30代)
- より多く若者に選挙に関心を持ってもらうために学校との連携。(女性 30代)
- 成果と教育だと思う。現在広報ふじと一緒に市議会だよりが配布されているが、教育の場で活用するとか若い世代にアピールする方法とか、あったらよいと思う。(女性 40代)
- 投票する事でどのような利点があるのかを明確に打ち出すべきだと思う。(女性 40代)
- 学生時に政治的疑似体験(ディスカッション)をして関心を持ってもらうことが必要。(女性 40代)
- 学生のうちに、選挙の重要性をしっかりと教育すべき。誰がなってもよい、変わらない、わからない若者も多いと思う。(女性 40代)
- 一人一人がまちや国をなす存在である、ということの自覚が必要だと思う。(女性 40代)
- 18歳から選挙に行けるようになったので、親世代も巻き込み、投票に行くような仕組みづくり。(女性 50代)

問 41 (つづき)

- 若い人の政治的関心を高めるよう、PR活動が必要。 (女性 50代)
- 選挙、政治に関心を持つような具体策の実施。 (女性 50代)
- マスコミの活用 (テレビ、SNSなど)。 (女性 50代)
- 家族で話し合い、選挙の大切さをお互い理解する。 (女性 50代)
- 小さいころから授業で重要性を教える。わかりやすいPRをテレビなどで行う。 (女性 50代)
- 若者が選挙に興味がないのは、このご時世当たり前なので、投票だけには行くように、小学校教育から選挙について取り入れる。生の市議会を見せる (毎年のように)。 (女性 50代)
- 投票すると、市政が変わるといふこと、市議会の仕事を説明して理解を求める。 (女性 60代)
- もっと選挙の重要性を若者たちに発信していく。 (女性 60代)
- 家庭でしつけ、話し合い、将来を考えさせる話をする。親も関心がないのではないか。 (女性 60代)
- 自分が投票に出かける時、子どもたちを誘ったり声をかけたりするようにしている (我が家は子どもが成人しているので)。夫婦での投票の姿は見かけるが親子での姿は余りないように思う。 (女性 60代)
- 一人一人の力はとても小さいが、集まれば大きな力となり、世の中を変えられるかもしれないということに気づいてほしい。 (女性 60代)
- ふだんから話題にする。 (女性 60代)
- 若い人が余り投票していないように見受けられるので若者が興味のあるように仕向ける。 (女性 70代以上)
- 若い候補者が少ないので、若い人に無関心な人が多いのではないか？学校や家庭で国民の義務だと強調する。一緒に投票に行く。 (女性 70代以上)
- 若い人の政治的関心を高めるため、学校教育の現場で選挙について教えることも必要だと思う。 (女性 70代以上)
- 子どものころから、選挙に関心を持つよう教育すべき。 (女性 70代以上)
- 20歳となり大人の仲間入りをしたという自覚が持てるまで選挙権は与えない方がよい。今の若者は、新聞も読まない人が多い。単に投票率をあげればよいというのではなく、よく考えてふさわしい人に投票する子に育ててほしい。そのためには小学校の教科書から中学高校と投票への意識を高める内容を盛り込んでほしい。 (女性 70代以上)
- 投票所で若者の姿を見かけない。時間帯のすれ違いかもしれないが、自分の老後のことなどを考えていないのだろう。 (女性 70代以上)
- 選挙管理委員会が何名いるか知らないが、のぼり旗を持って1か月位前から歩き回って声かけをしたらどうか。 (女性 年代不明)

問 41 (つづき)

市政への意見(13件)

- 政治が遠い。国民の声の届かないところで、勝手に決まることが多過ぎる。今、困っていること、優先順位も、目先と利益、都合悪いことは先送り。国債はふえ、若者より、高齢者や高所得者などがクローズアップされすぎ。もっと地道に、将来どうでもいいよと思考する国民にさせないでほしい。特に富士市！！何で政治をしてるのか、よくわからない。形をもっとはっきり。市民置いてきぼりをやめて！！「前例がない」で切り捨てるのをやめて、一歩踏み出してみるとよい。
(男性 50代)
- さまざまな地域の活動を盛り上げ、そこから地域の政治を身近に感じてもらう。
(男性 60代)
- 富士市内にショッピングセンターを誘致するなど元気な市に。市長、議員の行動アピール。
(男性 60代)
- 富士市の経済の向上と人づくり。
(男性 70代以上)
- 誰に投票しても富士市は変わらないから、市が変わらなければ、何も変わらないと思う。子ども医療費だって、500円×4回/月でも子どもが4人、5人いたら1か月でどうなるか。だから、長泉や三島に行ってしまう。富士市はお金の使い方が間違っている。誰が議員になっても変わらない。若者も子どもも減る。新富士駅だって中途半端。
(女性 30代)
- 若者が住みやすいと思える市になること。明らかな変化がないと、また何も変わらないと思ひ投票する気がなくなる。
(女性 30代)
- わからないが、富士市は娯楽が少ない(パチンコは多いが)。映画館やスーパー銭湯(温泉)が欲しい。富士や吉原の商店街は将来性が厳しいのでは。
(女性 40代)
- 身近である医療、子育て支援、年金など不安になっている要素について、具体的な案があり、安心に変わるものがあれば、投票率にもつながってくるのではないかと思う。
(女性 40代)
- 家の周りの道路が整備されたり、魅力あるショップができたり、働きに見合う給料がしっかりもらえたり、富士市で生活していて日々が楽しいと思えるように、目に見えて改善されなければ、期待できない。諦めている方々の心は動かないと思う。
(女性 50代)
- そのポジションが欲しいだけのような気がする。当たり前のことしか言っていないような…。弱い立場、助けが必要な人に助けが届くように。私は市役所でたらい回し、責任逃れをされた。でも税に関しては早い。厳しい。こちらに厳しくする分市役所で働く人もその課に応じて事務的に仕事をこなすだけではなく、来訪者に優しく接するとか、まず自分たちを見直してほしい。そのような宣言をする人がいない。
(女性 50代)
- 見える政治。身近な政治。現実的な税金の使い方をする政治。例えば、高齢者事故の多い現実をもっと真剣に考え、高齢化の進んだ山間部などの地域に行政で(民間では無理なので)、無料または、低価格のバス運行で高齢者が運転しなくてもよい状況をつくるとか。
(女性 60代)
- 広いPR活動ではなく、市民一人一人が、投票したら生活がよくなることを実感できる市政に期待する。
(女性 60代)
- 市政がもっと安心できるように、政治の質を高めてほしいと思う。
(女性 60代)

問 41 (つづき)

市議会への意見(3 件)

- 無関心層を少なくする努力が必要。選挙で何かが変わるような状態をつくる。思い切った人員削減策で議員を激減させる。 (男性 70 代以上)
- そもそも市議会議員はいらない。各まちづくりに力を入れるのであれば、町内会長で十分。調査として県外などに行くが、単に税金を使った旅行である。私は子どもに、日本人であるべき姿を教えている。国政に重要な人物であるかどうかを考えられる話をアドバイスしている。でないと投票などできない。 (女性 50 代)
- 昔と違って情報を得ようとすればインターネットやいろいろな手段があるし、市民一人ひとりがある程度の知識を持って市議を通さずとも直接行政窓口で解決できる昨今、市議の数が多いと思う。 (女性 50 代)

制度、その他(8 件)

- 企業ぐるみで仕組んでくる感じがすごくイヤだ。自由に選挙したい。 (男性 40 代)
- 棄権した人に対しては、一定期間選挙権を与えない(例えば1年間など)。罰金制度がよいと言う人もいるが、それでは白票や無効票がふえるだけで、意味がない。 (男性 50 代)
- 選挙権は20歳以上にすべき。 (男性 50 代)
- マンネリ化の防止。 (男性 60 代)
- 難しい問題ではある。 (男性 60 代)
- 学校、職場の協力。 (男性 60 代)
- 例えば、「この中に自分が賛同できる人がいません」と言う枠をつくる。自分の意見を主張するくせをつけてもらうためにあえて設けてみては。 (女性 40 代)
- 富士市が明るくなれば、興味も湧くと思う。 (女性 60 代)